

北海道遺産構想推進協議会

情 報 誌

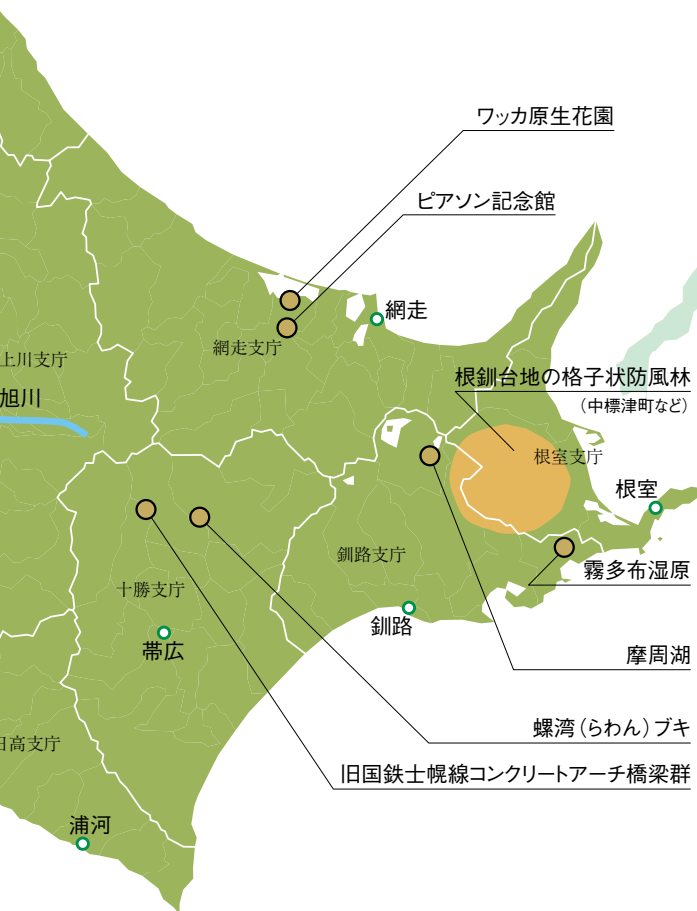
vol.
3・4

合併号

まち、ひと、
北海道遺産

「北の記憶」を「北海道の未来」へ

稚内港北防波堤ドーム



アイヌ語地名
アイヌ文様
北海道のラーメン

○観光の促進をはじめ、地域経済の活性化へとつなげる

北海道遺産について

[選定基準は]

選定の基準には学術的な価値や美的な価値など「客観的な評価基準」だけではなく、地域が保全・活用に取り組んでいるものや、今後の取り組みに期待できるものなどの「思い入れ価値」が大きなウェイトを占めています。この思い入れこそがこれからの北海道づくりにとって大切なものだと考えるからです。そして、この二つに「北海道らしさ」を加味して選定されています。一般的に遺産という言葉からは、「過去のもの」というイメージが広がりがちですが、「北海道遺産」は地域の未来を創造していく資産なのです。

[今後の選定は]

第2回の選定は現在、平成16年度を予定しています。平成15年度に各地域からの立候補や推薦の募集を開始し、選定専門委員による会議・現地調査、道民の意見募集などを経て、北海道の宝物が増えることになります。

北海道遺産（第1回選定分）分布図



2 「北の記憶」を「北海道の未来」へ―北海道遺産について

5 まち、ひと、北海道遺産

- 6 ■ 稚内港北防波堤ドーム
- 8 ■ 昭和新山国際雪合戦大会
- 10 ■ 空知地域に残る炭鉱関連施設群
- 12 ■ 霧多布湿原
- 14 ■ 増毛の歴史的建物群
(駅前歴史的建物群と増毛小学校)
- 16 ■ 函館山と砲台跡
- 18 ■ 京極のふきだし湧水
- 20 ■ 内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
(南茅部町、伊達市など)
- 22 ■ 路面電車
- 24 ■ 福山城(松前城)と寺町
- 26 ■ 螺湾(らわん)ブキ
- 28 ■ ピアソン記念館
- 30 ■ 留萌のニシン街道
(佐賀番屋、旧花田家番屋、岡田家)
- 32 ■ 根釧台地の格子状防風林(中標津町など)
- 34 ■ 石狩川
- 36 ■ 上ノ国の中世の館(たて)

38 ■ アイヌ文様

40 ■ ワッカ原生花園

42 ■ アイヌ語地名

44 ■ 旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群

46 ■ 摩周湖

48 ■ 北海道のラーメン

50 ■ 小樽みなとと防波堤

52 ■ 北海道大学 札幌農学校第2農場

54 ■ 姥神大神宮渡御祭

56 北海道遺産構想推進協議会の活動記録

58 第1回「北海道遺産

絵手紙・写真コンクール」入選作品

58 ■ 絵手紙の部

60 ■ 写真の部

62 会員募集のお知らせ

まち、ひと、 北海道遺産

*本稿は、毎日新聞が平成14年8月6日から11月3日まで連載した「北海道遺産の旅」（北海道版）を改題し、一部を訂正したものです。同社のご好意により文章および地図を使用させていただきました。

*本文内の「今年」「来年」などの時間的な表記、および年齢はすべて掲載時点のものです。

*使用した写真は関係各機関からお借りしたものの、北海道遺産構想推進協議会が撮りおろしたもの、著作権を有するものを使用しています。

最北港のシンボル



私と遺産

魚雷かわし逃げ込んだ

稚泊航路の花形は「亜庭丸」（3297トン）と「宗谷丸」（3593トン）であった。ともに国鉄が誇る最新鋭の砕氷型連絡船で、1940年当時、北海道と樺太を往来する旅客の56・6%が稚泊航路を利用した。

稚内市富岡に住む元国鉄職員、石井政雄さん（83）は、22歳の時に「宗谷丸」乗組員に採用された。蒸気式エンジンの操機手だった。

稚内と大泊との距離は167キロ、所要時間は約9時間。しかし、冬場の流水の海では10時間以上かかることもしばしばだった。宗谷丸の船首部分の傾斜角度は27度。流水帯に入ると、エンジンの出力を上げて氷盤を上から押しつぶすように砕きながら前進する。流水が厚く前進を阻まれると後退し、十分な間隔を置いてから惰力をつけて流水に体当たりして進んだ。

戦雲急を告げ、連絡船は敵潜水艦攻撃の標的にさらされた。45年7月18日、「宗谷丸」が大泊を出港し亜庭湾を岸沿いに南下していた時、護衛していた海防艦1隻に敵の魚雷が命中し沈没。間髪いれず「宗谷丸」も攻撃され、右へ左へと魚雷をかわしながら奇跡的に難を逃れた。石井さんは「本船着岸の時ほど北防ドームへの愛着を強く感じたことはなかった」とふり返っ

Data

設計：土屋 実

建設：1931（昭和6）～36（同11）年

場所：北埠頭（JR稚内駅から北へ徒歩約5分。また稚内公園から港とドームを展望できる）



●お問合せ先

稚内市建設部港湾課 Tel.0162-23-6161

北海道開発局稚内開発建設部

稚内港湾建設事務所 Tel.0162-33-2758

左上に防波堤ドームの光が並ぶ。



日本最北の港湾都市・稚内の港のシンボル、北防波堤ドーム。古代ローマ建築にも似た70本の太い支柱の上に半円形のアーチを描く壮大な建造物は、高さが13・2メートル、支柱の内側から奥の壁までが8メートル、総延長427メートル。

このドームのほぼ真ん中に70年建立の「稚泊（ちはく）航路記念碑」があり、碑文には「稚内と樺太（現サハリン）大泊（現コルサコフ）港との間に国鉄稚泊航路が開設されたのは1923（大正12）年」とある。

開設当初、旅客ははしけで沖に停泊する連絡船との間を行き来していた。28（昭和3）年に現JR稚内駅と同じ場所に「港駅」が開駅し、ほぼ同時に北防波堤の基礎が完成しようとしていた。

この年、稚内築港事務所に赴任してきたのが北大工学部（1期生）を卒業して間もない26歳の土木技師、土谷実であった。着任早々、所長から岸



壁や連絡船を高波から守る防波壁の設計を命じられた土谷はぼうぜん自失した。土谷の卒論のテーマは「コンクリートアーチの橋梁（きょうりょう）と設計」で、防波壁とは似て非なるものだった。まして現場経験は無いに等しかった。

土谷の挑戦が始まった。四六時中紙と鉛筆を手元に置き造形に専念した。一定の形が出来ると強度計算から模型製作、実験を繰り返し、直立式防波壁からようやくドーム型防波堤にたどり着いた。これはのちに「稚内港防波庇（ひ）工事」と題し「土木工学」第5巻第1号（36年7月）に掲載され、学界の注目を集めた。

ドームは31年から5年の歳月を経て完成した。3000トン級1隻、2000トン級2隻の船舶着岸を想定した岸壁や、列車がドームの中をくぐり連絡船に接続する「栈橋駅」も整備された。こののち「稚泊航路」がわずかに9年で終えんを迎えるとは誰が想像しただろう。

た。「宗谷丸」は45年8月24日早朝、約4500人の樺太避難民を乗せて稚内に入港。これが稚泊航路最後の航海となった。

まちづくりと遺産

改修で復活、行事に活用

半世紀を経て老朽化したドームは古い設計図をもとに78年から3年かけて大改修が行われ、よみがえった。マリントウンプロジェクトとしての周辺整備も進み、99年からは耐震補強工事も進められている。ドームは単に過去の遺物ではない。新しい命が吹き込まれたのだ。防波堤としての使命はもちろん、改修後は全天候型ドームとして多くのイベントに活用されてきた。

今年も7月27日から8月16日まで第12回「いーべやわっかない」物産まつり（協水青年部主催）が開催され、大勢の観光客や市民でにぎわっている。

国立公園利尻礼文両島と稚内を結ぶフェリーのターミナルもその一角を占め、観光スポットの役割も。さらに99年から稚内・コルサコフ定期航路が54年ぶりに再開。便数も年ごとに増え、今年は5月から10月までに50往復の予定だ。この「稚泊航路」の復活こそ、先人が北防波堤ドームに込めた「遺産」そのものだった。

新スポーツの 「聖地」

「子供の遊び」をスポーツに変えた「昭和新年国際雪合戦大会」は誕生してわずか14年だが、人口3300人弱の町から生まれて国内はもとよりフィンランドなど海外6カ国で「YUKIGASEN」が開かれるまでに育った。胆振管内壮瞥町は新たなスポーツの「聖地」になった。

「冬場に観光客を呼べる手はないか」。87年夏、商工会や農協の青年部、若手経営者など6、7人の会合が始まりだった。「さつぽろ雪まつり」に負けないイベントを求めた若者たちが3カ月の議論の末に行き着いたアイデアが「雪合戦」。反対もあったが、雪玉をぶつけ合うという単純さが妙な自信につながった。

一方で「決してローカルイベントには終わらせない」とも決意。その思いが、雪合戦を「本格的なウィンタースポーツ」に変えた。厳格な競技ルールを決め、大々的にPR。89年2月の第1回大会は、70の募集枠に約120チームが殺到する上々の滑り出しになった。

私と遺産

雪合戦を五輪種目に

「国際雪合戦大会」の魅力に、競技として確立された点を挙げる人は多い。町内約1500人の審判の頂点に立つ「A級審判」の阿野光弘さん(46)は「冬のスポーツとして認められたいと思ってきた成果」と胸を張る。

試合は、ジャッジが大きな要素を占める。「ジャッジの8割は、雪玉に当たったかどうか」だが、熱くなつた選手が「当たったのにアウトになっていない」と猛抗議することもある。雪玉の尽きた選手が、つい玉を作ることもあり「アウトを告げると『エッ、作ったっけ?』と我に返る人も多い」と苦笑する。

「壁同士のわずかなすき間を抜いて雪玉を当てるとか、年々すごいプレーが出てくるね」と感心する半面、気軽に楽しむにはスポーツ化しすぎた点も認める。「今後は『冬に壮瞥に来れば、いつでも雪合戦ができる』というような態勢を作りたい」と意欲を燃やす。

大会には選手や審判、会場準備などで全町民の2割近い約600人が携わる。山中漠(きよし)町長は「雪合戦を通じて産業や地域の垣根が取り払われ、人間関係の新陳代謝が進んだ。町民が得たものは大きい」と語る。

しかし、経済効果が期待ほどでないのも現実。



Data

「昔の雪遊びの楽しさを現代に再生しよう」と1987年12月に雪合戦をイベントとして開発することを決定。88年に世界初の雪合戦ルールが完成。実行委員会には多数の町民ボランティアが参加。

参加資格：海外、道外、道内のすべての勤労者およびその家族（中学生以上）

募集チーム数：一般の部がおおむね154チーム、レディースの部がおおむね36チームとする（優先順位あり）

チーム編成：監督1名（選手を兼任可能）、選手7名、補欠2名の計10名（一般の部は性別制限なし）



●お問合せ先
昭和新山国際雪合戦実行委員会事務局
（壮警町経済課） Tel.0142-66-2244

まちづくりと遺産

実行委員長の堀口一夫さん（54）は「もう少し『遊び心』の要素を加えたい」と指摘。着いたばかりの観光客でも楽しめる「本格的な大会とは別の雪合戦」を模索する。

今年の第14回大会で初めて、一般・レディース双方で道外勢に優勝を奪われたが、関係者は「雪合戦大会が全国に認知されるには喜ばしいこと」と受け止める。「こうなったら国体、そして五輪種目だ」。関係者の夢は膨らむばかりだ。

応募は年を追って増え「スポーツとしての雪合戦」はまたたく間に多くの人に広まった。今年2月の第14回大会は、道内外から1000を超えるチームが応募。25地区の予選を経た19

0チームが昭和新山の山ろく特設グラウンドに集合し、決勝の「センターコート」を目指した。現在は、北海道から大分県まで18の雪合戦連盟を構成、海外でも壮警町の姉妹都市のケミカルビ市（フィンランド）での「欧州カップ」が8回を数える。小さな町の若者たちのアイデアは「雪まつりに劣らない」一大イベントに成長した。

チームは選手9人（コートに出られるのは7人）と監督1人で編成。7基の雪のシェルター（壁）を設けたコートで雪玉をぶつけ合う。雪玉に当たればアウトで、相手全員を倒すか敵陣のフラッグを奪えば勝ち。選手は専用ヘルメットを着用するが、雪玉の威力で顔面のシールドが破損することもある。

特筆されるのは、その場の雪で勝手に作る雪玉でなく、統一規格の「雪球」を使うこと。「雪球製造器」で直径をそろえ、数も1チーム90個までだ。

雪球の使用ペース、選手の布陣や時間配分などの綿密な組み立てが不可欠。指示を出す監督の役割も大きく、第1回大会で電気関係の職場チームが仕事の専門用語を合図に使い、手の内を読ませない作戦で優勝した。

当初は、決着がつかない場合、残り球が多い方が勝ちで、壁に隠れて球を節約する戦術も横行した。そのルールの廃止や壁の縮小などで、試合が白熱した。

よみがえった廃虚

Data

- そらち・炭鉱(やま)のまちからの挑戦事業HP
<http://www.sorachi.pref.hokkaido.jp/yama/theme/>
- お問合せ先
空知支庁地域政策課主査(産炭地振興)
Tel.0126-23-2231



三菱美唄炭鉱立坑巻揚槽



住友奔別炭鉱立坑槽

◆住友奔別炭鉱

三笠市幾春別の空に浮かぶ四つの巨大な滑車。それぞれにワイヤを通し坑員・職員と石炭、それに資材を並行して昇降できる秘密だ。最新鋭の設備を誇った住友奔別炭鉱立坑槽(やぐら)。51メートルの高さは東洋一だった。

ピークの70年には142万トンを出炭したが、合理化のため翌年、閉山。悲劇はさらに続く。密封作業を終えたばかりの立て坑で、死傷者が出るほどのガス爆発が起きた。赤茶けた鉄骨は、壁板をはずすなどした事故処理の名残だ。

「夏草に覆われた壮大な墓標のよう」と往時の炭住街を思い出し、顔を曇らせる古老もいるが、今この「炭鉱遺産」が見直されている。

奔別炭鉱の場合、閉山後も工場や資材置き場などとして活用されたため、選炭工場、原炭ポケットなどの石炭生産システムがほぼそのままの形で残り、産業遺産としての評価が高い。

◆萱野駅

奔別の立て坑から南西に約10キロ離れた三笠市萱野の旧幌内線萱野駅。今年7月7日、駅の前庭に地元町内会や駅舎を宿泊所として利用したライダー約100人が集合し、焼き肉パーティーで駅の改修1周年を祝った。

石炭輸送のために三笠(幌内)と小樽(手宮)を結んだ道内最古の鉄道、幌内線。途中の萱野駅は1913(大正2)年に建てられ、石炭だけで

なく炭住街の主婦らが農作業アルバイトに訪れ乗降する駅としてにぎわった。同線は87年に廃止。駅舎は窓を鉄板でふさいで廃屋同然になった。

しかし、地域の住民が雪下ろしをするなど、建物を維持。そして昨年、町内会は「往時の姿を残す貴重な駅舎を残したい」として、積立金の一部を改修費に充てることを決めた。地元の建設会社も資材を提供。外壁を張り替え、屋根を塗った。ダルマストープや洗濯機なども運び込まれライダーハウスとして利用できるようにした。

駅前に住む会社役員、坂梨宣行さん(50)が鍵を預かる。宿泊したライダーにジギスカンなどをふるまうこともあり、この1年間の利用者は70〜80人にのぼった。駅舎に置かれた1冊のノートに「あついてもてなしに感動しました」と、坂梨さんから地域への感謝の言葉があふれる。「遺産」がよみがえり、触れ合いの輪が広がった。

私と遺産

いつか観光資源に

炭鉱遺産を生かした地域づくりを目指し、空知支庁は98年度「そらち・炭鉱(やま)の記憶」事業をスタートさせた。集約した管内の炭鉱遺

産は、炭鉱関連施設・機械、歴史的建造物、鉄道関連施設、生活・文化財など198件。地域は三笠、夕張、岩見沢、美唄、赤平、滝川、歌志内など13市町におよぶ。

炭鉱遺産には、往時の炭住街でよく食べられた「なんこ料理」まで含まれている。馬の腸の煮込みで「鉱山、炭鉱文化として大切にすべき郷土料理」と付記されている。

支庁は「みかさ・炭鉱(やま)の記憶再生塾」「シューパロ塾(夕張)など、それぞれの地域で活動する市民グループの発足もサポートした。「三笠郷土史を学ぶ会」の会長だった解良(けら)守さん(67)は「再生塾」のリーダーだ。

塾はほぼ毎月「幌内を歩こう会」を行っている。草に覆われた坑口を見、ズリ山に登って炭鉱遺産に触れる試みだ。「地域ごとの塾ができ、旧産炭地が結びついた」と、高く評価する。

地元の中学生たちを連れて歩いたり、学校に出向いて街の歴史を語る。「見たことがないのだから『石炭とは』の話から入ることになる」「私たちの子供のころは選炭でどの川も真っ黒だったのに——」と、苦笑する。「すぐ観光資源にはならないだろうが、昔別に泊まって三笠、美唄などを巡ってもらおう。『なんこ』を食べながら古老の話を聞くななんてのもいい」。解良さんのつぶやきだ。

野鳥と草花の 楽園



私と遺産

埋め立てた湿原、修復を

「元々は湿原。使わなくなったら元に戻そう」。
NPO（特定非営利活動法人）「霧多布湿原トラスト」理事長の三膳（さんぜん） 時子さん（45）は、湿原復元事業に取り組んでいる。

湿原の近くで生まれ育った三膳さんにとって、湿原は以前は「生活の場に接した季節の花がきれいな湿った草地」でしかなかった。86年、湿原保全に取り組む任意団体「霧多布湿原ファンクラブ」が結成され、その事務局を手伝った。事務局に全国から「湿原の美しさに魅せられた」や「貴重な自然を守って」との手紙や電話が寄せられ、三膳さんは「周囲を見渡して改めて感動した」。

ファンクラブが99年12月に解散し、それを受け継いで00年1月、トラストを設立。三膳さんは理事長に就任した。「ここは湿地で、利用しにくいから自然のまま残った貴重な土地。人工で作れない宝物を子供たちに残そう」と考えた。

「埋め立てられた湿原を修復し、植生を復元しよう」。昨年9月、200万円をかけて湿原内に放置されていた漁業者の作業小屋を撤去。コンブの干し場として敷き詰められていた碎石を取り除き、一部に池を作った。民間による湿原復元は道内初。3年かけて復元するかを調べ、

Data

霧多布湿原は釧路湿原、サロベツ原野に次ぐ日本第3位の面積を誇り、その中央部803haは天然記念物。1993年にはラムサール条約登録湿地に指定された。

面積：3168ha

花：ハナショウブ、ワタスゲ、ヒオウギアヤメの他、エゾカンソウの群生地として有名

鳥：約300種の鳥が見られる（湿原・周辺の森林・海岸地帯）。特にタンチョウヅルの営巣地として名高い。



●お問合せ先

浜中町商工観光課 Tel.0153-62-2111

霧多布湿原トラスト Tel.0153-62-4600

浜中町霧多布湿原センター

Tel.0153-65-2779

[各種エコツアーのお問合せ]

霧多布湿原センター友の会

Tel.0153-65-2779

北・西・南の3方を丘陵に囲まれ、東は太平洋に接する道東の浜中町の霧多布湿原は面積3168ヘクタール。釧路湿原、道北のサロベツ原野に次いで国内3番目の広さ。海拔3メートル以下の低湿地帯で大部分はミズゴケの泥炭地。その厚さは0.7〜2.6メートルもある。

湿原の中央部の803ヘクタールは「海拔5メートル以下の低地に泥炭地があるのは貴重」との理由から、1922（大正11）年に「霧多布湿原泥炭形成植物群落」として天然記念物に指定された。

湿原には国の特別天然記念物のタンチョウや白鳥、アオサギ、コクガンなど四季を通して約100種類の野鳥が見られる。83年に「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地」として、2504ヘクタールがラムサール条約に登録された。

湿原は、約5000年前まで海底だったといわれる。その海水が次第に引いて陸地となり、低い

部分に水がたまって沼や川ができた。沼地に生えた植物は、枯れても寒冷的な気候のため腐りきらないまま積み重なり、泥炭層を作って堆積（たいせき）を続け、2000〜3000年かけて現在の状態になったという。

湿原の魅力は鳥やシカ、キツネなどの動物のほか、美しさ、華やかさを競って咲き乱れる花。「国内最大級の原生花園」といわれ、100種類を超える草花が見られる。

4月から6月は、雪が解けるのを待つて咲くフクジュソウやキバナノアマナ、湿原を白一色に染めるワタスゲ。霧に包まれる日が多い7月初旬はエゾカンソウの黄色に包まれる。そして濃い紫のノハナショウブ、コケモモ、センダイハギ。青空の広がる秋はサラシノショウマ、カラフトブシなど。高山植物が大部分を占め、訪れる人の心をつかんで離さない。

環境教育に生かす計画だ。

まちづくりと遺産

産業と観光に大切な資源

「浜中町の基幹産業は漁業と酪農で、海や草地进行する湿原は産業振興に大切な資源。保全と自然環境整備の面からも、調査・研究は重要」。同町の長谷川徳幸助役は、町発展に湿原は切り離せないと強調する。

同町は94年度から「霧多布湿原学術研究助成」制度を設け、120万円（02年度）の予算を計上。湿原の動植物、自然現象などの調査、研究に訪れる個人や研究団体に20万〜30万円の助成を行っている。

同町には、湿原と並ぶ観光名所の霧多布岬と合わせて年間約40万人の観光客がやって来る。北海道遺産に選定されたのを受け、庁内に観光振興を目的とした「エコツーリズムに関する政策企画会議」を創立した。湿原での自然体験、修学旅行招致など具体的な売り込み策を検討し、入り込みの大幅増を目指している。

また、町内14小学校と5中学校でも、総合学習のなかで、自然環境の学習や体験を進める。

し の ぶ 栄華の跡



国稀酒造

私と遺産

コンクリートにないぬくもりが

暑寒別岳をバックに町を悠然と見下ろす増毛小。全面改築案まで出ていた建物に、児童らが元気に通っている。校舎が生き延びた背景に、「増毛小学校校舎を考える会」の努力があった。町は00年春、防寒対策の不備や老朽化を理由に校舎改築計画を打ち出した。「教育環境をよりよくしたいのは賛成だが、改修すれば使えるものを壊すのはおかしい」。渋谷正之さん（40）は同年9月、町内の有志と共に同会を立ち上げた。渋谷さんらは町議や町に要請を続ける一方、町民対象の見学会やフォーラムを実施。昨年7月、専門家の協力で改修の費用や方法を盛り込んだ提案書を作成し、町に提出した。こうした経緯が評価されて北海道遺産の候補となり、改築計画はほどなく白紙に戻った。

親子3代で同小に通っている渋谷さん。「木造校舎には、コンクリートの冷たい壁では味わえないぬくもりがある。増毛の原風景でもあり、このまま学校として利用しながら残ってくれば」と願っている。

まちづくりと遺産

民間所有多く保全にも限界

レトロな街並みを観光資源に活用しようとして



旧商家丸一本間家



増毛小学校の外観と体育館内部。
体育館の屋根と天井は三角形を基本とした木造トラスで組まれている



夏の穏やかな浜風が、潮の香りとカモメの鳴き声を街角まで運んでくる。石造りや木造の建物の色あせた地肌が、日本海の厳しい風雪に耐えた時間の長さを物語っている。

ここは留萌管内増毛町。甘エビやサケ、ニシンの漁場としてにぎわった漁業の街だ。1751（宝暦元）年に和人が定着したとされる。北海道遺産に指定された街並みを眺めながら、街が最も栄えた明治、昭和初期を想像した。

JR留萌線の終点、増毛駅わきの建物に「風待食堂」の看板がかかる。高倉健さん主演「STATION」（81年）の舞台にもなった1933（昭和8）年建築の老舗、多田商店だ。現在は観光案内所としても利用され（春、秋）、期間中は「STATION」のスチール写真が展示されている。

駅前通りの交差点に立つ「旧商家丸一本間家」は1881（明治14）年、佐渡出身の豪商、本間泰蔵が建てた石造りの呉服店舗。凝った造りの店

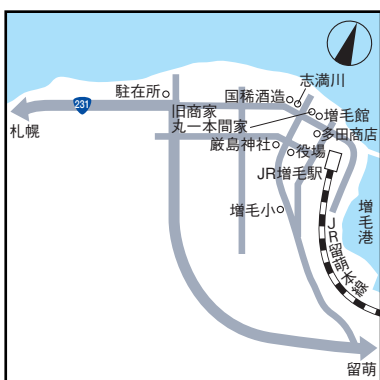
舗や客間、通り庭はすっかり復元されていて、ニシン漁や海運、不動産業まで手がけた本間家の栄華がしのばれる。

さらに西側へ歩くと、紺色の大きな布に大きく白抜きで「酒」の一字が躍る、すっきりした木造建築。創業120年になる国内最北の造り酒屋「国稀酒造」だ。ここでは、暑寒別岳（1491メートル）の水が生んだ銘酒の利き酒や酒造り道具の見学を楽しめる。

街を一望する小高い丘に登ると、町立増毛小学校の校舎がどしりと構えている。1936（昭和11）年の建築当初の姿のまま、今も児童約200人が通っている。木造2階建て約3500平方メートルと、道内に残る木造の小・中学校校舎では最も広い。

このほか、いまでも営業している旅館「増毛館」や食堂「志満川」、華やいだ造りの増毛厳島神社など、レトロな趣が街のあちこちに散らばっている。

Data



●お問合せ先

増毛町企画財政課企画係

Tel.0164-53-1111

町は旧商家の丸一本間家を4億円かけて購入・復元し、00年から一般公開している。しかし、建物群全体を保全する資金は町にない。当面、観光客が訪れやすい基盤づくりを進める考えだ。

ハード面では、建物群が集まる道道わきの歩道約450メートルを整備する。段差をなくして拡幅し、街路灯を設置して「ふるさと歴史通り」と名づける。04年度にも完成する見通しだ。また、同町の2大イベント、5月のえびまつりと10月の秋あじまつりで、ポスターに「北海道遺産」のロゴを印刷し、町のイメージアップを図った。会場から建物群へのシャトルバスも運行している。

ただ、こうした動きとは裏腹に数年前、昭和初期の商業建築が取り壊され更地となった。建物群の多くは民間が所有するため、保全運動に限界があるのも現実だ。

「戦争」が 残した自然

函館市のシンボル・函館山（334メートル）。毎年、多くの観光客が夜景を見るためにロープウェイや観光道路で山頂の展望台を訪れる。しかし、この山の価値は華やかな夜景だけでない。観光客に気づかれずに木々の中に朽ちている無骨な軍事要塞（ようさい）があるからこそ「函館山と砲台跡」として北海道遺産に指定された。山頂部から海沿いまで、約50カ所のやぶの中に司令所や砲台などの跡が眠っている。

「函館要塞」は、1898（明治31）年から4年の歳月を費やして築造された。ロシアとの衝突が予測される中で、国内最大の造船所のある函館港と、太平洋への重要航路だった津軽海峡を守る絶好の位置にこの山はあった。

要塞に、日露戦争（1904～05年）で日本陸軍が激戦地の旅順要塞の203高地で使用した強力な28インチ榴（りゅう）弾砲（だんほう）を16門配備した。「軍艦は要塞に勝てない」のが、当時の軍事上の常識。函館要塞の近くには日露戦争の際、ロシア海軍は寄り付かなかったという。

Data

標高約334mの函館山は海中から噴出した火山で、牛が寝ているような姿から臥牛山とも呼ばれる。1899年から1945年まで要塞として使われ、一般市民の立入りは規制されていたが、1946年に一般に開放された。現在の山頂展望台は1988年に完成し、1962年には鳥獣保護区特別保護地区に指定されている。



●お問合せ先

函館市土木部緑化推進課

Tel.0138-21-3430

日露戦争当時は800人の兵士がいたというこの要塞も、設備の老朽化による訓練要塞への転用を経て、一度も実戦を経験することなく45年、太平洋戦争の終戦を迎えた。砲台の台座などの金属部品はすべて撤去され、今に残るのは、コンクリートやレンガの壁や床だけだ。

戦争の暗いイメージを漂わせる要塞だが、思わぬ副産物をもたらした。軍事機密を守るために1899年施行された要塞地帯法で、函館山の立ち入りと写真撮影が戦後の46年まで禁止された。おかげで30万都市のただ中にある山に、ほぼ手付かずの自然が残されることになった。植物は約600種、野鳥は約150種の多彩さを誇るこの山は62年、鳥獣保護区特別保護地区に指定された。

御殿山第二砲台



かつての御殿山第二砲台の28cm榴弾砲（大正11年）



別名「臥牛山」は函館のシンボル



薬師山砲台



戦闘司令所（千畳敷）

私と遺産

街全体を世界遺産に

船大工の技術や造船道具、戸井町のアーチ橋などを研究してきた「函館産業遺産研究会」の会長、富岡由夫さん（77）。99年から函館要塞を調査している。「勤務していた人たちが高齢なので、早く聞き取り調査をしなくては」と今までに約60人の話を集めた。

実地調査の方は、遺跡の所在がよく分からず、なかなか軌道に乗らなかった。だが、00年に防衛庁防衛研究所戦史部の協力を得られるようになり状況が一変。同研究所の資料など使って捜索、測量することで大きく進展した。

とはいえ、春から夏にかけては木々の枝葉や草が生い茂って接近できない。調査は秋や初春に限られ、山の上での調査は体への負担も大きい。

生い茂った木の根にむしばまれ、ボロボロの状態という要塞だが、富岡さんの夢は大きい。「幕末の開港5港で、街並みが生き残っているのは函館だけ」。要塞と函館山を含めた街全体をユネスコの世界遺産に登録するのが目標だ。「そのためにも、自然保護とのバランスを取りながら、要塞をしっかりと整備してほしい」と訴えている。

まちづくりと遺産

「近くて遠い」を身近に

年間530万人が訪れる観光都市・函館にとって、函館山は貴重だ。市民の関心も高い。70年に周遊道路の建設計画が持ち上がった際には市民による反対運動が起き、同市は75年に計画を撤回する一方で逆に「函館山緑地整備計画」をスタートさせた。計画は10年、5年ごとに更新している。

整備計画で、函館山を（1）人間の手を加えず、盗掘防止を図る自然保全区域（2）ハイキングやバードウォッチングの舞台となり、子供たちや町内会が利用しやすいよう散策路等を整備してきた市民の利用区域（3）展望台付近の渋滞を緩和するため、客を降ろした観光バスをふもとで待機させるなどの改善をした観光施設区域、に3区分し整備してきた。

今年度から5年間の新整備計画で同市は、函館要塞のうち5カ所を、見学など市民の利用が可能ないように整備する。また、同市は8月25日に小中学生を対象とした初めての要塞跡見学会を開き、近くて遠い存在だった函館要塞を身近な施設にしようとしている。

豊かな 大地の恵み



「蝦夷富士」の愛称を持つ羊蹄山（1898メートル）は円すい形の成層火山だ。火山灰や溶岩が積み重なって形成した成層火山のすそ野にはしばしば湧水（ゆうすい）が見られるが、羊蹄山もその例外でない。毎秒20リットル以上の豊かな水量を誇る湧水は、京極町、ニセコ町、倶知安町、真狩村などに全部で17カ所。湧水量は1日合計30万トンにもなる。

羊蹄山は透水性が高く、降水や雪解け水の大部分は地下に浸透し地下水脈を作っている。地下水脈を流れる水は、50〜70年をかけてゆっくりろ過され、ミネラル分をほど良く含んだ硬水となって流れ出ている。

中でも京極町の「ふきだし湧水」は、国内最大級の湧水として知られる。水の特徴は、年間を通して変わらない水温（6・5度）と純度の高さだ。塩素イオンや有機物などの不純物はほとんどなく、味はまろやかでのどしがとてもよい。1日の湧水量は約8万トンで、30万人分の生活用水に匹敵。町はこの水を約3500人の町民の飲料水として利用しているほか、下水道や工業用水にも使っている。同町企画振興課長の後藤田紘さん（57）は「おいしい水は買わなければ飲めないという時代に、ぜいたくな使い方をするのかと思う

私と遺産

感謝を込めて守る宝

松田玄龍和尚の弟子で龍門寺の3代目住職だった中川玄中さん（79）は「和尚が湧水を町に寄付したのは、個人で所有すると欲が出てさまざまな災いが起こると考えたのじゃないかと思う」と、玄龍和尚の無欲をたたえる。

1923（大正12）年に倶知安町から移住してきた中川さんは、ふきだし湧水をずっと見守ってきた。「水質や水量は昔と変わらない。町と町民が大切に守ってきた証拠です」と目を細める。

毎年8月、「ふきだし公園」で仏尊像例祭を行い、町民とともに湧水への感謝の気持ちを新たにしている。「湧水は、自然が与えてくれた貴重な宝で財産。これからも美しくおいしい水が汚されないよう、弟子とともにお守りしたい」

まちづくりと遺産

次世代につなぐ財産

飲料水、下水道、工業用水などとして使われている湧水を京極町は「町の貴重な財産」と位置付け、良質な水資源を保全する環境整備を進



でしょうね」と苦笑する。

「ふきだし湧水」に関する史料はほとんどないが、1928（昭和3）年ごろ岩内町の豪商、梅沢富士郎が湧水一帯の土地を龍門寺に寄付。同寺の松田玄龍和尚が東俱知安村（現・京極町）に寄贈するとともに、観音像を建立し霊場とした。以来、住民は湧水を「観音様の霊水」としてあがめてきたという。

利用は一部の住民にとどまっていたが、85（昭和60）年に環境庁の「名水百選」に選ばれ、名が広まった。おいしい水を求め、湧水のある「ふきだし公園」を訪れる観光客が急増し、98年度に100万人を突破。昨年度も103万人が訪れた。後藤田さんは「ここまで有名になるとは思わなかった。自然が与えてくれた宝物です」と笑顔で話す。

暑さが本格化すると、湧水をくみに札幌や本州から訪れる人々の列が長さを増す。多い日は1日に6000人も詰めかけ、昨年は8月だけで12万5666人。豊かな自然がじっくりと生んだおいしい水が、今日も多くののどを潤している。

Data

蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山に降った雨や雪が濾過され、地中のミネラルを加えながら50～70年という長い時間をかけて、きれいでおいしい水になる。水量：1日約8万トン（約30万人の生活用水を確保）水温：年間を通じて6.5℃前後



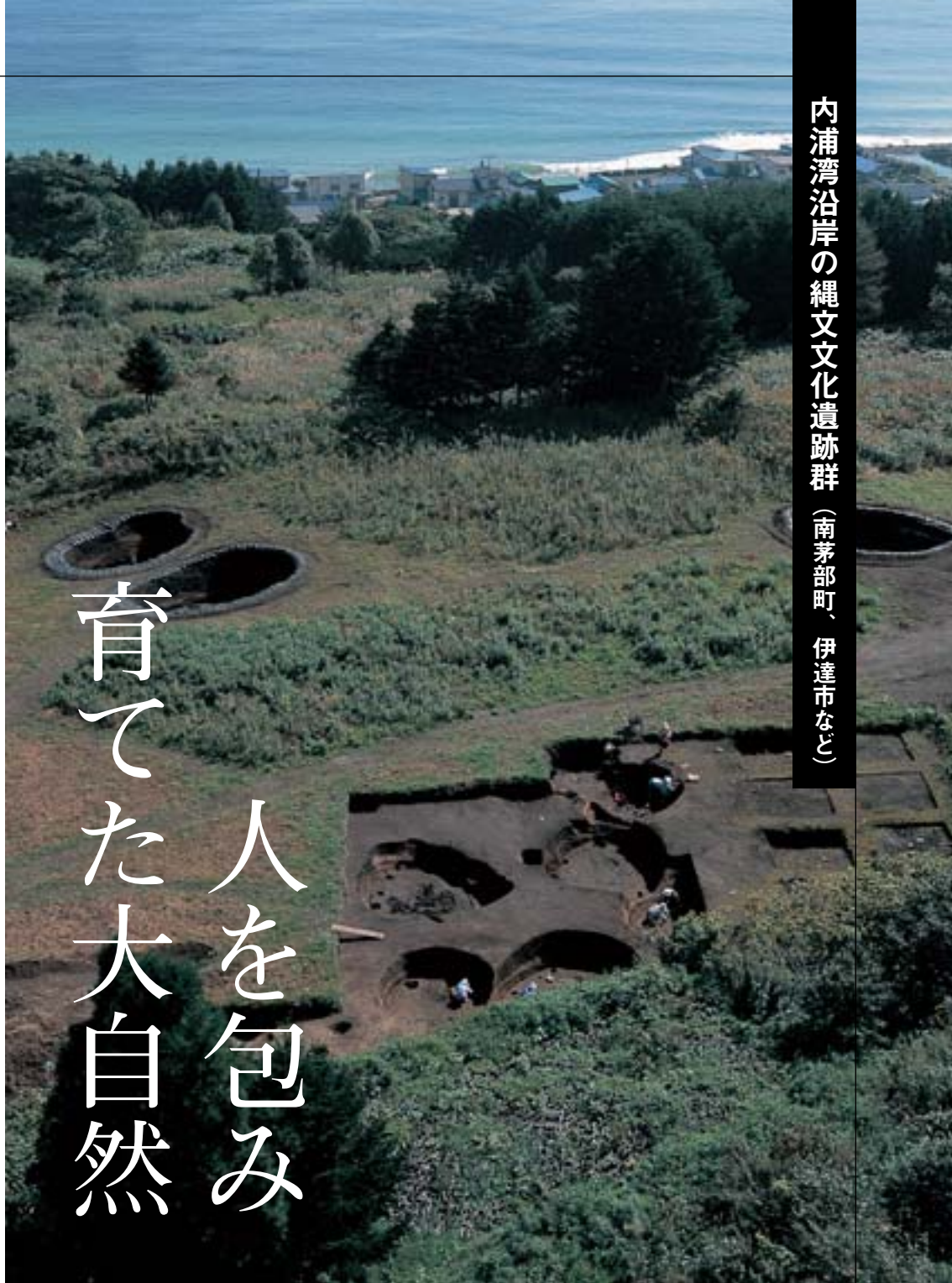
●お問合せ先
京極町企画振興課

Tel.0136-42-2111

めてきた。

83年から公園整備に着手し、約7億円をかけて93年に「ふきだし公園」を造成。水くみ場や散策路、アスレチックコースなどを設け、湧水の素晴らしさをPRする名水プラザを建設した。町は、ふきだし湧水にちなんだ観光祭りを毎年春と夏に開催。特に7月下旬の「しゃっこいまつり」には2万人以上が詰めかけ、町は活気に包まれる。

ふきだし湧水の水は民間企業の手で日本酒や豆腐、氷、ミネラルウォーターなど特産品に姿を変えた。同町の後藤田企画振興課長は「町づくりのためにもっと湧水を活用しPRすればいい」という意見もある。でも私たちの務めは、与えられた宝をきちんと次の世代に引き継ぐことだ」と語る。



人を包み 育てた大自然

大船遺跡（南茅部町）

国の重要文化財
中空土偶（南茅部町）

室蘭市から渡島管内榎法華村まで、内浦湾（噴火湾）を囲む2市8町1村で、縄文時代から近世までの暮らしを語る貝塚や土器、骨角器などの出土する遺跡がたくさん見つかっている。南茅部町の大船遺跡、伊達市の北黄金貝塚、虻田町の入江

貝塚などだ。温暖な気候と豊かな海産物という大自然の恵みが人々を優しく包み、育ててきた。

× × ×

噴火湾沿岸は、道内で最も多くの貝塚が発見されている地域。特に、伊達市を中心とする東部沿

私と遺産

だれもが学べる古代ロマン

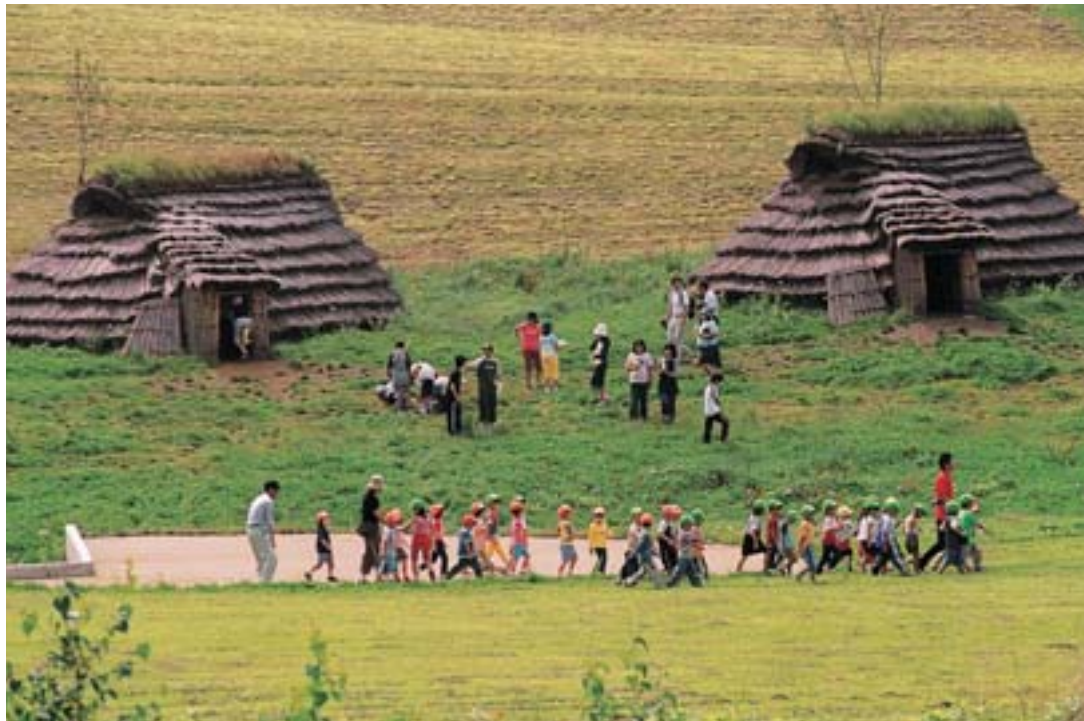
伊達市中心部から国道37号を室蘭方向に車で約15分。牧場や農場が広がる農業地帯の真ん中に、「史跡北黄金貝塚公園」がある。「私が遺跡を研究するようになった原点です」。伊達市教委文化財課長で、札幌医大非常勤講師も務める大島直行さん（52）が思い入れを語る。

北黄金貝塚は1948（昭和23）年、伊達高校教諭で、大島さんが「師匠」と呼ぶ峰山巖さんが発見した。

大島さんは釧路管内標茶町で生まれ、東洋大で考古学を勉強。北海道に戻って最初に北黄金貝塚を研究対象に選び、峰山さんを知った。当時勤めていた千歳市教委を辞めて札幌医大の助手となり、解剖学を研究。北黄金貝塚から出土した縄文人のほぼ完全な骨格を見て「この人はどういう人なんだろう」という思いが募り、遺跡研究を極めてみたくなったという。

峰山さんは大島さんに「遺跡は学者のためでなく、地域のためのものなんだ」と言い聞かせた。峰山さんの願いは、北黄金貝塚を誰もが学べる学習の場にする。峰山さんが92年に死去したあと、大島さんは師の構想を実現するために95年、札幌医大を辞めて伊達市教委に職を求めた。

大島さんの奔走が実って昨年6月、「史跡北黄金貝塚公園」がオープンした。縄文人の火おこしや疑似発掘体験など、体験学習メニューの



岸は40カ所もの貝塚が分布し、ほとんどが有珠地区と黄金地区に集中している。
北黄金貝塚は縄文早期（7000年前）から中期（6000～4000年前）の遺跡で、住居や墓のほかに、全国的にもほとんど例のない「水場

の祭祀（さいし）場」が発見された。石作りの道具などを供養する神聖な場所だったと考えられている。

オットセイやクジラの骨で作った道具類、ハマグリ、カキなどの貝殻も多い。

× × ×

道南では、南茅部町で発掘調査が盛んだ。集落規模としては国内最大級の大船C遺跡など88カ所の遺跡があり、出土品は精巧な漆塗り製品など350万点を超える。

国の重要文化財に指定された「中空土偶」や、縄文時代の農耕を知る手がかりになった粟（あわ）・ヒエの種子など、全国的な注目を集める出土品が多い。

集落規模の大きさは、食糧を得るのが容易で移動の必要がなかったからと想像できる。

※南茅部町では平成14年12月28日、埋蔵文化財調査団事務所で火災が発生、全焼しました。この火災により、約9000年前の漆副葬品などの文化財が被災しました。現在、改修・修復作業に取り組んでいます。

Data

●お問合せ先

南茅部町教育委員会埋蔵文化財調査室

Tel.01372-2-3789

伊達市教育委員会文化財課 Tel.0142-21-5213

充実した博物館だ。大島さんは同公園で毎月「縄文セミナー」を開催し、講師を務めている。

まちづくりと遺産

見て、知って、体験して

PRも活発に

発掘調査が活発な伊達市と南茅部町で、縄文人の遺跡を「地域の遺産」としてまちづくりに活用しようと、住民らが保存や研究・普及啓発に努めている。

◆南茅部

南茅部町は多数の遺跡群をまちづくりに生かそうと「縄文遺跡の里」をPR。発掘に携わる主婦や商店主、会社員らが「北の縄文CLUB」を結成し、発掘作業や研究、遺跡周辺の清掃などに取り組む。毎年夏に「縄文土器の製作体験」を企画。大勢の縄文ファンが粘土をこね、野焼きして楽しむ。

◆伊達

伊達市の「北黄金貝塚公園」は竪穴式住居や貝塚を再現し、縄文人の暮らしを紹介。発掘作業を疑似体験できるコーナーもある。

市民もボランティアとして遺跡保存や啓発活動に参加。同公園で縄文期に生えていたクリ、トチ、ナラなどを植樹する「縄文スクスク森づくりの会」、公園の展示物を見学者に解説する「オコンシベの会」がある。市教委の大島文化財課長は「遺跡を自分たちで守っていく意識が生まれ、大変うれしい」と話す。

「チンチン」の音 遠ざかる



路面電車が運行する街は道内で札幌、函館だけ。札幌市の路面電車は1918（大正7）年、それまで馬車鉄道を走らせていた札幌電気軌道が開道50周年記念大博覧会の開催中に開通させた。

南1条線（南1西15～南1東2）停公線（北4西4札幌駅前～中島公園）南4条線（南4西3～南4東3）の3路線5・3キロを、定員26人の車両24両が運行した。片道6銭、往復10銭。人気を集め、しばしば「満員」の札を掲げて走った。電車の直前直後を横断する人や軌道内で遊ぶ子供も多く、電車が走る時は足踏み式の警鈴（フットゴング）の「チンチン」音が響いた。

業績は順調だったが、電車の公益的性格から札幌市は27（昭和2）年、買収して市営化。太平洋戦争中は節電のために停留所が廃止されたりしたが、乗務員不足を女子挺身（ていしん）隊員や一般市民の奉仕隊員が運転して補い、市電は維持された。

私と遺産

先進的な歴史生かして

札幌市中央区の富樫俊介さん（61）は、札幌で生まれ市電を見ながら育った。「中央区南3西5の、市電の線路から100メートル離れた所に自宅があり、市電には乗るというより見ていた」

中学生のころ、遅刻しそうになると市電に乗って登校した。頻繁に市電に乗ったのは高校の時で、毎日、すすきのと北24条を往復した。「市電全盛のころ。満員で電車に乗れず、遅刻しそうになったこともある」と懐かしむ。

首都圏に進学、就職したが、71年に札幌に戻った。4年前、市電の活用を考える市民グループ「札幌LRTの会」に入会した。

札幌の市電はササラ電車やディーゼル車、連結車、婦人子供専用車の導入など先進的な取り組みをしてきた。そんな歴史を胸に、富樫さんは「今はごく限られたところしか路線が残っていないが、札幌の名に恥じない先進的なことをしてほしい。市電ネットワークの復活もいい」と話す。

まちづくりと遺産

体験運転など触れ合い事業

市電の会



函館のハイカラ号



札幌の除雪風景

Data

【函館】

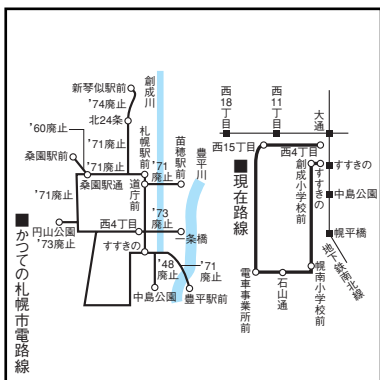
開通：大正2年（北海道で最初の路面電車が誕生。東雲町～湯の川間5.83Km、車輛数5両、区内3銭）

営業：10.9km（道路事情や乗客の変化などにより路線を縮小し、平成5年4月から現在の2系統に。現在は輸送人員約2万人/日、保有車輛数35両。全盛期の昭和39年頃には営業キロ17.9km、輸送人員約14万人/日、保有車両数87両）

【札幌】

開通：大正7年（3路線約5.3Km、車両数24両、片道6銭）

営業：8.465km（道路事情の変化や地下鉄開通などにより路線を縮小し、昭和49年5月から現在の1系統に。現在は輸送人員約2.3万人/日、保有車両数30両。全盛期の昭和40年頃には営業キロ25Km、輸送人員約27万8千人/日、保有車両数154両）



●お問合せ先

函館市交通局管理運輸部 Tel.0138-32-1730
札幌市交通局電車事業所 Tel.011-551-3944

戦後の札幌市の膨張に応じて63（昭和38）年に鉄北線が北27条から麻生まで、翌年には新琴似まで延長した。

ピーク時の64年には7系統9路線（合計約25キロ）、乗客は1日約28万人。ラッシュ対策として、2両編成の「親子電車」や、急行運転を導入。市電は通勤通学客のほか初詣で客や花見客、札幌ま

つりの行楽客でも超満員だった。

しかし、自動車の普及や地下鉄の開業で路線は次々と廃止。74年に西4丁目～すすきのの1路線のみとなった。

縮小の流れのなかでも、皇太子御成婚（93年）を記念して華やかに飾り付けた花電車をはじめ、ササラ電車に電球500個を取り付けたイルミネーション電車、車両内外を飾ったクリスマス電車、ハートや天使の形形で車内を飾るバレンタイン電車などが市民の心を明るくしている。

同市総合交通対策調査審議会は昨年4月、路線のループ化（環状型）、地下鉄との乗り継ぎ施設の整備、優先信号システムの導入、低床車導入などを提言した。しかし、市電は今年度、2億8500万円の赤字の見込み。同市が策定した今年度から5カ年の「交通事業改革プラン」でも、乗客の減少と施設の老朽化で経営は急速に悪化すると予想している。

市電を街づくりに生かそうと90年、札幌市中央区の連合町内会、商店街などが「市電の会」を発足させた。同会は91年から00年まで、主要交差点や電停を大型プランターの花で飾り、乗客や市民を楽しませた。92年、ドイツの「ミュンヘン市電友の会」と姉妹提携した。

今年は、市電フェスティバルで体験運転や市電との綱引きを行い、幼稚園児と小学生を対象にした「市電の絵」コンクールも開催する。中央区のホームページに今年4月「市電沿線ぐるっと探検」が新設され、市電運転席からの風景や、電停周囲の景色を動画で見せている。「市電倶楽部」という情報ページもある。

交通資料館（南区真駒内東町1）には、過去の路面電車や除雪車、昔の車掌の制服、乗車券などが展示され、車両は乗ったり触ったりできる。

よみがえる 築城時の姿

北海道で最も早くサクラが見ごろとなる渡島管内松前町の松前公園。福山（松前）城は、この公園を見下ろすように建つ。戦後に焼失し再建された天守閣と、城の背後に集中的に配置された五つの寺が江戸時代の雰囲気を出す。道内唯一の城を誇りに思う気持ちは町民に根強い。門や土堀の復元工事が今も着々と進んでいるうえ、天守閣を築城当時の木造に復元する構想もある。

Data

福山（松前）城（国指定文化財）

1606年築城（前身である福山館）

松前藩主松前家墓所（国指定史跡）

松前藩の始祖・武田信広から十九代にわたる藩主、その室や子などが眠る

龍雲院（曹洞宗・国指定重要文化財）

江戸時代の伽藍を残す

法幢寺（曹洞宗）

松前家の菩提寺

法源寺（曹洞宗・山門は国指定重要文化財）

山門は道内最古の建造物の一つ

光善寺（浄土宗）

桜の銘木・血脈桜が境内に

阿吽寺（真言宗）

本尊の不動明王立像は平安後期のもので、仏教美術史においても貴重な作品



●お問合せ先

松前町商工観光課商工観光係

Tel.01394-2-2275

松前観光協会

Tel.01394-2-2726

松前町教育委員会文化財課

（松前城に関する問合せ Tel.01394-2-3060）

松前家の初代藩主、松前慶広がこの地に築城したのは江戸幕府が開かれて間もない1606（慶長11）年。火災と修築を経て1854（安政元）年に建て替え、箱館戦争では旧幕府軍と官軍の戦場になった。維新後の1875（明治8）年に開拓使が主な建物や石垣を取り壊し、堀も埋めた。残った3階建て天守閣も1949（昭和24）年、町役場の火災の延焼で焼失。現在の天守閣は町民や道内の小中高校生らの寄付金で60年、鉄筋コンクリートで再建した。

同町は76年に史跡福山城保存管理計画を策定し、本州から職人を招いて石垣や堀などの復元を進めている。京都の宮大工の手で復元される「天神坂門」は今年12月に完成の予定。岐阜の左官職人による土塀工事は土にわらくずを切り込み、自然乾燥させる工程を6回繰り返すもので、下塗りが終わったばかりだ。

天守閣について同町教委の久保泰文化財課長は「今の天守は再建したもので、復元ではない。鉄筋コンクリートの寿命は意外に短い、しっかりとした木造なら数百年に一度の補修で長持ちする。工事中の姿を積極的に見せることで教育にもつながる」と次の世代に復元を託す。

一方、寺町は江戸時代、15もの寺や神社があった。焼失や合併、町内外への移転で減少したが、1842（天保13）年に建築された国の重要文化財の龍雲院、山門が国の重文指定の法源寺など貴重な寺院建築が現存する。

私と遺産

往時の景観復活に信念

「松前歴まち商店街組合」の組合長を務め、商店街で薬局を経営する西村吉之助さん（73）は札幌医大付属病院薬剤部に勤務したあと、1955年に古里に戻った。再建した松前城について「立派になったが、城の堀に埋められた土を掘り返して水を入れ、石垣も整備すると城が、ぐっと引き立つ」と今後の「復元」に思いをはせる。

商店街も「昔のような瓦の街並みを再現したい。カラフルな看板はだめです。まちづくり協定はみんなの意思としてまとまった」と話す。さらに電線の地下埋設、それが不可能ならば、電柱を商店街の後ろに移設し、表通りから目立たないように景観を改善することも胸の中で温めている。

「家並みを整えるだけでなく、小さなイベントを催すなどして観光客がいつも訪れるような、魅力のある商店街にしたい」と力を込めた。

まちづくりと遺産

建て替えに統一基準

松前町は93年、道の戦略プロジェクト「歴史を生かす街並み整備モデル地区」に指定された。城を中心とした約100ヘクタールを▽城を含む文化財保存ゾーン▽松前藩屋敷や散策路を整備する高台公園ゾーン▽北前船が接岸した旧波止場周辺の海岸ゾーン▽本町中央部・商店街ゾーンに4区分し、特色ある町作りを進める。

同町都市整備課の藤崎秀人課長は「松前城は町の宝。歴史を後世に伝えながら、町の顔づくりに役立

てたい」と説明する。

モデル地区の具体的な計画づくりには行政だけでなく、町民が主体的にかかわった。地区指定の93年に「歴史を生かす街づくり推進協議会」が発足して論議を重ね、97年、協議会が発展的に解消し、商店街の商店主らによる「松前歴まち商店街組合」（組合員62人）が設立された。

商店街は延長400メートルにわたって幅6メートルの道を14・5メートルに広げ、両側に歩道を整える計画。4月施行の「まちづくり協定」に沿い、商店が建て直す際には（1）歩道境界から50センチ離す（2）建物の色は「白」を基調（3）金属成形の瓦を使う（4）自動販売機を店の前面に置かない、などの統一基準を同組合が設けた。着工前に審査を受ける決まりだ。

武家屋敷をほつふつとさせる町営住宅もお目見えし、町づくりは松前城の歴史と共に進んでいる。



清流の恵み 高々と



螺湾（らわん）フキは日本一面積の広い町（約1400平方キロ）十勝管内足寄町の螺湾地区を流れる螺湾川に沿って自生する日本で最大のフキ

だ。馬に乗った人の頭上に、高さ4メートル前後のフキの葉が生い茂る大正初期の写真が残っている

る。それほど巨大な螺湾フキは姿を消したが、現在でも高さ2〜3メートル、茎の直径が約10センチになる。

螺湾フキは、螺湾川の清流と川岸の砂質の土壌、それに豊かな山林に囲まれた地理的な好条件が重

まちづくりと遺産

新商品続々、 町おこしに一役

螺湾フキが北海道遺産に選ばれ、町おこしに取り組んでいる足寄町民は活気づいた。商工業者、農林業者、町職員などで組織する足寄産業クラスター研究会（甲斐孝志会長）は、螺湾フキの商品開発、地域ブランドの確立、観光産業との連携に取り組んでいる。

同研究会は螺湾フキのロゴマークを制作し、ロゴマークが入ったTシャツ、エプロンを作った。7月、螺湾フキシンポジウム開催に合わせて1泊2日の北海道遺産モデルツアーが行われ、道内から参加した20人が刈り取りを体験した。6月には足寄町農協主催の「ラワンぶき狩り」も行われた。商品開発では、同農協が山菜工場で水煮缶詰、水煮袋詰を製造。町内の菓子店ではヨウカン、まんじゅう、最中などが売られている。

生の螺湾フキを販売する朝市から活動を始めた螺湾地区の主婦5人グループ「ふきのとう」は、加工食品開発の実績が目覚ましい。螺湾フキのつくた煮「ほらふき」と「らわんぶき炊き込みご飯の素」の製品化に成功し、同町観光物産協会の売店や同農協のAコープで販売している。

今年3月には同農協の食生活改善コンクールに出品した「らわんぶきのパイ」に特別賞が贈られた。代表の木村栄子さん（53）は「これからも新商品開発に力を入れたい」と張り切っている。



なつて大きく育つとみられている。でも、大きさだけが売り物ではない。肉厚で繊維は太いのにならなく、風味の豊かさが特徴だ。普通のフキと成分を比べると繊維が約2倍、カルシウムが約4倍。マグネシウムを多く含む。

今年の収穫期は6月中旬から7月中旬まで。上螺湾地区の農家5戸で作る「らわんグリーン研究グループ」（木村明雄代表）が自生地で刈り取りした。89年から、地元の螺湾郵便局を通じて「ゆうバック」で全国に発送している。自生地以外でも、足寄町農協が育てた種苗の提供を受け、約15

戸の農家が畑で有機露地栽培に取り組んでいる。

★研究者は僕たち2人

足寄町立螺湾小（柳橋敏雄校長、児童7人）の山田修平君（5年）と中村優紀君（6年）が螺湾フキの研究に取り組んでいる。

昨年春、転校してきた山田君が螺湾フキに興味を持ち、インターネットでフキの情報を収集。螺湾フキの自生地の観察やフキで和紙を作る実験をした。山田君は観察、実験記録を昨年の「十勝子ども大会」理科作品の部で発表し、

みごとに最優秀賞に輝いた。今年の中村君と共同研究している。2人は螺湾フキを収穫している「らわんグリーン研究グループ」会員の阿部喜一さん（53）方の自

生地に5月中旬から6月中旬までスクールバスで定期的に通り、成長を観察。「7日間で28センチ、22日間で109センチ成長した」などと成長記録をつけた。

校舎近くに自生している螺湾フキも観察。水槽の中に土を入れ、螺湾フキを種苗から育てる実験もしている。これらの調査結果は、デジタルカメラで撮影した写真を添えて模造紙に書いている。書き上げた模造紙は既に9枚。観察眼の鋭さを物語る記録だ。

2人は7月の螺湾フキシンポジウムで研究成果を発表。辻井達一・北海道遺産構想推進協議会会長から「成長記録は貴重だ。科学的な研究手法は素晴らしい」と絶賛された。柳橋校長ら8人の教職員は2人の研究を応援。2人は地域で「たいした子供たちだ」と評判だ。

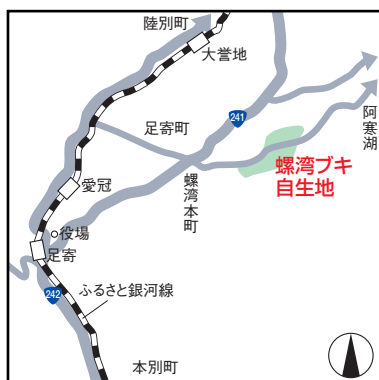
Data

採りたての生ぶきの産地直売の他、ようかんなどの菓子類、螺湾フキの灰を釉薬にしたコーヒークップや皿、花瓶なども

	カルシウム (mg100g)	マグネシウム (mg100g)	繊維 (%)	灰分 (%)
螺湾フキ(生)	173.0	32.7	2.01	1.06
一般ぶき(生)	40.0	—	1.30	0.70

*一般ぶきは、露の成分組成（五訂日本食品標準成分表）による

*螺湾フキは、道立食品加工技術センター分析による



●お問合せ先
足寄町農林課農政係

Tel.01562-5-2141

ピアソン宣教師夫妻



設計者 ヴォーリス

人間愛伝えた 宣教師の家



JR北見駅から歩いて15分ほどの高台に2階建て洋館「ピアソン記念館」は建っている。米国人宣教師、ジョージ・ベック、アイダのピアソン夫妻が3本の柏があったこの高台を「三柏（みかしわ）の丘」と呼んで1914（大正3）年に建てた私邸だった。

27歳のピアソンが来日したのは1888（明治21）年。93年ごろ、生涯の伝道の地として北海道へ移った。94年、同じ宣教師のアイダ・ゲップさんと結婚。静かで優しく語り、聖者の雰囲気を持つピアソンさんとは対照的に、アイダ夫人は強い自尊心と使命感に満ちたタフな女性だったという。



この設計図どおりには建築されなかった。建築を手がけた地元の棟梁が西洋建築を図面どおりに建てる技術がなかったと思われる。（開館30周年記念誌より）

私と遺産

命ある限り保存に力

北見ピアソン会会長で元市議の水津仁郎さん（78）は、カシワ、ハルニレなど30種類、160本の木に囲まれた館を訪れるたびに「命のある限り、保存に力を注ぎたい。大事な宝物を後世に残すのは義務」と強く思うという。

水津さんの家は菓子店。父親に手を引かれ、焼き立ての食パンを毎朝、夫妻に届けた。

「節くれだった大きな手で頭をなでくれたピアソンさんのぬくもりが、今でも鮮明によみがえります」

建築から88年たち、老朽化は著しい。水津さんは「幸い設計図が残っているので、建築当時の建物を再現したい。それに向かって、若い人たちに会員の輪を広げる事が不可欠」と話す。

「ピアソンさんの遺産はさすがさと、わけへだてのない人間愛」という。

まちづくりと遺産

入場者大幅増は確実

ピアソン会は、ピアソン夫妻の足跡と記念館を知らせようと活動している北見市の市民団体を

函館、室蘭、札幌、小樽、旭川、釧路、名寄、遠軽。徒歩や馬の背に揺られ、クリスチャンのいるところを訪ねなかった土地はないという。帯広で監獄伝道を行い、旭川では遊郭廃止と廃（はい）娼（しょう）運動に取り組み、英国人宣教師のジョン・バチエラーとともにアイヌ民族を援助した。

夫妻が伝道の終点に選んだ地は、アイヌ語で「地の果て」の意味を持つ野付牛（現在の北見）。故郷に似た風景のその地に自宅を持った。

館は、メンソレータムの近江兄弟社を創設したW・M・ヴォーリス氏の設計。米国様式の移民住宅にスイス風の山荘を取り入れたデザイン。テラスが張り出し、大きな窓は上下に開閉し、石の集合煙突があった。

敷地にカルカヤやキキョウが香り、日曜学校の子供たちが賛美歌を歌い庭の芝生で遊ぶ姿があった。同市高栄東町の佐藤全さん（78）は「夫妻のいつくしみ深いまなざしが、今でも忘れられない。深い人間愛を感じた」と話す。

夫妻は伝道の傍ら、妨害や暴力と闘いながら熱心に廃娼運動に取り組んだ。「人情味豊かで、素朴な人ばかり」と表現した北見に別れを告げ、帰国したのは1928（昭和3）年。来日から40年もたっていた。

館は後任の宣教師や信者の私邸、児童相談所と主を変えたが、68年に北見市が取得。復元し71年、ピアソン記念館としてオープンした。

記念館の1階は夫妻をしのぶ展示室。ピアソンが30年間かけて執筆・出版した「略註（りやくちゅう）旧新約聖書」の原稿、開拓者に勇気を与えた1906年製の鐘、賛美歌の伴奏に使った1878年製のオルガンなどが置いてある。

祖父の形見で、帰国に際して親友の野付牛中（現北見北斗高）初代校長の佐藤猪之助氏に贈った望遠鏡も。帰国を翌年にしたクリスマス祝会で、ピアソンは望遠鏡を手にも「普通に見ればアメリカの私達、逆に向けると私達が日本の皆さまを見られる。時折、逆さまにしてのぞいてください」と、強い哀惜をユーモラスに語ったという。

夫妻を囲んだ記念写真には、アイダ夫人がドイツ語を教えた札幌農学校の生徒、有島武郎の姿も。愛用の机、椅子が書斎風景を再現している。

2階に唐笠（とうがさ）記念室。医師で俳人の唐笠学氏が39年、主なく荒れ果てた館を買い取り、大修理して14年間、住宅兼集会所として使用し館の保存に尽力した。

館の周囲は都市化した。敷地、隣の「ピアソン公園」の緑とさえずる小鳥は当時のまま。1本残ったカシワの老木が、誰にも優しくった夫妻の人柄を語りかけるようだ。

Data

ジョージ・ベック・ピアソン（1861年生まれ）は宣教師として明治21年来日。明治学院での教職生活などを経て北海道に渡り、各地で伝導活動の後、大正3年に北見市へ移住。昭和3年、15年にわたる日本での伝導活動を終え帰国。

住 所：北見市幸町7丁目4番28号（JR北見駅から徒歩15分）

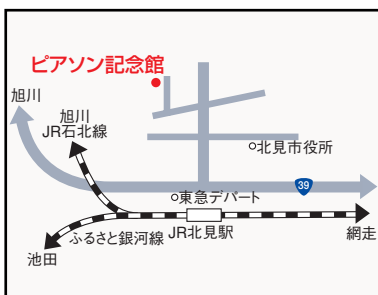
建 築：1914年（大正3年・1970年修復）

建 物：木造2階建て（約180㎡）

展示品：オルガン・愛用の机・銀杯・ランブ・教会の鐘・著書等

休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始

入 場：無料（9：30～16：30）



●お問合せ先

北網圏北見文化センター

Tel.0157-23-6700

ピアソン記念館

Tel.0157-23-2546

で、会員は約110人。敷地の樹木に樹名板を取り付け、花壇を整備してきた。

今年5月に同館で「童馬、直寛とピアソンの絆（きずな）展」を開催。前庭で7月6日に開いたグリーンコンサートには300人が来場した。小中学校の吹奏楽、看護学校生のハンドベル、大人の混声合唱があり、紙芝居も演じられた。

同館の昨年度の入場者は4666人。北海道遺産に指定されて観光バスが次々に止まるようになり、入場者の大幅増は確実だ。市は駐車場の新設、トイレの増築などに取り組んでいる。同センターは「この機会を生かし、ハッカ記念館とセットでアピールしたい」と話している。

漁場のにぎわい伝え

ニシン街道は夕陽の名所でもある。旧花田家番屋の美しいシルエット。

私と遺産

漁師は金遣い荒かった

子供のころからニシン漁で汗を流した小平町鬼鹿の鳴海憲太郎さん（87）は、大正期の漁民と旧花田家番屋にまつわる話を懐かしく語った。以下は鳴海さんの思い出……。

大正初めに既にニシンは減ってたが、それでも2、3年は群衆で海が真っ白に染まることもあった。おれは津軽の出身で4代目だが、あのころの漁師は大金が舞い込んだら、女と酒でその年のうちに全部使ったものだ。「翌春、漁をすればいいべ」ぐらいの感じで、貯蓄する考えはさらさらなかった。そんなふうだからおれのおやじは財産を何も残さず、おれの代になっても貧乏が続いてる。

花田家の人は格式が高くて、おれらは相手にされなかった。花田は見識も高かったな。ニシンを引き揚げるのに普通は人夫がモッコを背負ったが、花田はウインチとトロッコを使って大掛かりにやった。

いずれにしても、ニシンを取り過ぎたな。

まちづくりと遺産

かさむ保存費用

苫前町の岡田家を管理する水産加工会社専務の岡田裕幹さん（52）は「老朽化がひどく、個



旧花田家番屋内部（小平町）



佐賀番屋（留萌市）



岡田家（苫前町）



ニシン料理の伝統が今も地域に残る

留萌管内の「ニシン街道」沿いの漁場で、本州から来たヤン衆が沖揚げ音頭に乗り、海を真っ白に染めるニシンを追いかけた。最盛期は江戸末期から明治後期とされ、日本海沿岸のこの一帯は「千石場所」として大にぎわいした。街道沿いの海岸に並ぶ佐賀番屋（留萌市）旧花田家番屋（小平町）岡田家（苫前町）は、ニシン漁業の網元や庶民の暮らしを垣間見ることが出来る貴重な文化遺産だ。

◆佐賀番屋

1957（昭和32）年まで113年間、ニシン漁が行われた留萌市礼受（れうけ）の佐賀家漁場。この前浜に99年春、ニシンの群来（くき）が45年ぶりに現れ、番屋は一躍、脚光を浴びた。

建物と前浜、船着き場が今もそのまま残

る道内唯一の番屋で、97年に国の史跡指定を受けた。

青森県下北で海運業をしていた佐賀家が1844（弘化元）年、漁場を開いたのが始まり。番屋からは手紙や台帳など約1万5000点の文書が見つかり「北前船による大阪方面への流通状況が分かる資料」（留萌市）として注目される。

◆旧花田家番屋

佐賀番屋から国道232号を北上すると、小平町鬼鹿に旧花田家番屋が建つ。安芸（広島県）出身の花田家の祖先が1863（文久3）年、同町で漁場を開いた。明治中期の最盛期には18カ統の定置網を経営。米倉など100棟に近い建物を持ち、雇い人も500人を超える大ニシン漁家として名をはせた。

重要文化財指定を受けて同町が花田家から買収し1976年7月、親方の居室、漁夫の寝所などを再現した観光施設としてオープンした。昨年度の入り込み数は12万8000人。町の代表的観光施設になった。

◆岡田家

「ニシン街道」最北の番屋は、苫前町苫前の漁港近くにある岡田家。1886（明治19）年の建築で、岡田家が海淵鹿之助という人物から購入した。ニシンが姿を消す1955年ごろまで使われた。

Data

佐賀番屋（留萌市）：現状は内部見学不可。収蔵品の一部は海のふるさと館で保管

旧花田家番屋（小平町）：入場料・高校生以上350円、小中学生100円。5～10月9時30分～17時、11～4月10時～16時、休館・月曜と12月28日～1月15日。隣接する道の駅飲食施設にはニシンそばやニシン定食あり

岡田家（苫前町）：現状は内部見学不可。収蔵品は苫前町郷土資料館（入館料・高校生以上210円、小中学生100円、5月1日～11月10日の10時～17時開館。月曜休館）で展示。

●お問合せ先

留萌市 海のふるさと館 Tel.0164-43-6677
留萌市企画財政部調整課調整係

Tel.0164-42-1801

小平町 旧花田家番屋管理事務所 Tel.0164-57-1411

小平町総務課企画振興係 Tel.0164-56-2111

苫前町 苫前町企画振興課まちおこし係

Tel.01646-4-2211

人で保存・管理するのは経済的に不可能」と訴える。

小平町が所有する旧花田家番屋、所有者から委託され留萌市が管理する佐賀番屋とは異なり、行政の支援が受けられない。岡田さんは「保存したい気持ちはやまやまだ。しかし……」。玄関軒下の土台が下がり、母屋の木は年々やせ細っている。台風で毎年のように屋根がはがれ、補修に50万円かかる。

3棟の番屋だけが北海道遺産に選定されたことに疑問の声もある。番屋は、南は寿都町の橋本家から北は羽幌町天売の池田家まで延びている。「留萌市海のふるさと館」の福士廣志館長は「支庁割りで留萌管内に限定したに過ぎない。日本海沿岸一帯を街道にすれば広域的に連携し、イベント効果が図られるのだが」と疑問を話す。

防風と防霧兼ね 1万5708ヘクタール

上空から見なければとても「絵」には見えないナスカの地上絵（南米ペルー）。人工衛星からも鮮明に見えることで知られるが、それに匹敵する地上絵が本道にある。根釧台地の格子状防風林。毛利衛さんが乗ったスペースシャトル・エンデバーから送られた映像は、なるほど碁盤目状に掘られた水路のようだ。

摩周湖を眼下に望むこともあれば釧路湿原の上空を飛ぶこともある。目替わり空路“の中標津空港便。知床連峰を間近に望みながら高度を下げ、雲海を抜けたあたりで広大な牧草地を区切るカラマツ林が見えてくる。

これが地上絵の正体。「何の変哲もない林」にしか見えないのは、高度不足のせい。二百数十キロ上空を飛ぶスペースシャトルの宇宙飛行士だけに許された感動なのだ。

中標津町の歴史小説家、佐々木護さん（52）は「グレート・グリーン・グリッド（偉大なる緑の格子）」と呼び、「意識のフィルターをくぐらせる」ことを勧める。

選定前までは誰にも注目されない林だ

私と遺産

「ナカシの地上絵」と命名

「何だ、これは」。フライトシミュレーターで飛行を疑似体験していた飯島実さん（52）は、高度10万フィート（約30キロ）まで機体を上昇させたとき、整然と区画された格子の存在に気づき、「ナスカ」ならぬ「ナカシの地上絵」と命名した。東京航空局中標津出張所長をしていた99年のことだ。

赴任したころから妙に気になる林だった。「高さが見事に同じということは、枯れるのも一斉だろうな」と。林業予算が大幅に削られ、下草刈りや間伐もままならず、すでに枯れている林もあつた。単一樹種に頼ることの危うさも感じた。

ナスカのような「単なる遺跡」にしてはいけなと思う。巨大な工作物を手がけた以上は、日本全体の資産としてきちんと残していかなければならない。単なる「人寄せ材料」ではなく、そこに暮らす人々にも動物にもプラスになる「生きた林」として。

間もなく職を辞し、中標津に自分で汗を流して山小屋を造る計画だ。そして「自分にもできることはないか」と生きがい探しをしているお年寄りを仲間引き入れ、森づくりの実践を考えている。「300年先を見すえた夢のプロジェクトです」



格子状防風林が北海道遺産に選定されたことをきっかけに、中標津町では平成14年9月、「地球環境ワイズユース大学」が開かれた。この発想のきっかけは「KJ法」で有名な川喜多二郎氏が学園紛争時代に開いた「移動大学」にある。今回のワイズユース大学では、都市計画や地域づくりの分野で活躍する社会人、学生と地域住民の計35名が集い、3日間にわたって、ニセコ、十勝、九州の阿蘇など全国各地で取り組まれているワイズユース（アウトドア、森づくり、グリーンストックなど）の事例について、その実践者たちから講義を受けるとともに、自然散策や釣り、乗馬、カヌーなどを体験する現地講習も行った。



スペースシャトルから撮影された防風林。格子状の様子が宇宙からでもよく分かる。



Data

中標津町開陽台から防風林の一部を展望できる



●お問合せ先

中標津町経済振興課地域振興係

Tel.01537-3-3111

った。宇宙飛行士になった気分で「意識のフィルター」を働かせようとした人々の熱意が「ただの林」を地上絵に変えた。その歴史は約100年前にさかのぼる。開拓使顧問の米国人、ホーレス・ケブロンが3・3キロごとに182メートル幅の防風林の設定を提唱。開墾も防風林を残す形で行われたが、やがて薪炭材や坑木として大半が切られた。森林を復元するために成長の早いカラマツが選ばれ、本格的な植林が行われたのが30〜40年前。防風と防霧を兼ねて中標津、別海、標津、標茶の4町の総面積1万5708ヘクタールに植えられた。大地が雪で覆われる冬。葉を落としたカラマツ林の格子は、とりわけ美しいコントラストとなって地球からのメッセージを宇宙へと伝える。

まちづくりと遺産

モデルツアーを実施

●守る会●

道が「北の遺産構想」を立ち上げようとした2年前、中標津町街づくり推進室の係長だった矢島竜二さん（49）は、いち早く動いた。「日本一の防風保安林を守る会」を立ち上げ、「ただの林」にしか見えない防風林の壮大なスケールをエンデバーからの写真を見せて訴えた。

選定後の7月に行われた「モデルツアー」では、視界330度の開陽台からホーストレッキングを実施。手前に格子状防風林、背後に国後島を眺めるロケーションに25人の参加者も大満足だった。

●馬の道●

「3GR」の名づけ親の佐々木さんは、中標津町の市街地から開陽台までの約15キロを「馬の道」として整備し、将来的には摩周湖から根室海峡までを結ぶ壮大なホーストレッキング・コース構想をあたためる。

●実のなる木●

「幅182メートルの防風林を3分割し、中央の60メートルを広葉樹に植え替えたらどうか」。中標津町議の松村康弘さん（49）もユニークな提案をする。「真ん中に実のなる木を植えれば、子供たちも入って行くだろうし、野生動物の隠れ場所や移動経路にもなる。魅力的な林に変えるチャンス」と期待する。

結実した川 静める努力

浦臼町晩生内



石狩市では平成14年9月、石狩川が北海道遺産に選定されたのを契機に、「北海道遺産石狩川歴史・文化伝承事業」を開催。この中では鮭地びき網漁が32年ぶりに復活した。



Data

総延長：268km（日本第3位）
流域面積：14,330km²（日本第2位／北海道全体の6分の1に相当し、48市町村が連なる）
支川：大小70余り

●お問合せ先

北海道遺産構想推進協議会

Tel.011-218-2858

石狩市経済部商工労働観光課

Tel.0133-72-3167

石狩川は大雪山系石狩岳（1967メートル）に源を発し、大小70余りの支流を合わせて日本海に注ぐ大川である。本流延長はかつて日本第2位だったが、治水のための直線化工事などで約100キロ短縮し、現在は268キロで信濃川、利根川に次いで第3位。流域面積は利根川に次ぐ第2位の1万4330平方キロに及び、北海道の総面積の6分の1を占める。

◆未曾有の洪水

81年8月3日。サハリン中部の発達した低気圧から南に延びた前線が北海道中央部に停滞していた。ここに北上した台風12号の影響で石狩、空知地方は6日朝まで記録的な集中豪雨に見舞われた。総雨量は岩見沢410ミリ、札幌294ミリに達し、被害は死者2人、家屋の全半壊22戸、床上



1981年8月の石狩川はんらんでは冠水した国道12号と函館本線。江別市豊幌付近。（写真提供：毎日新聞社）

浸水4819戸、床下浸水1万5443戸。田畑の被害は7万3824ヘクタールに及んだ。

江別市豊幌の農業、山本宏さん(45)は、石狩川支流の幌向川の堤防が決壊し、水が自宅周辺の水田に押し寄せる光景を忘れられない。「水田が海みたいになり、白波が立っていた。生きた心地がしなかった」という。

和人による開拓が始まって130年余り。ほぼ10年に1回の割合で石狩川の流域を洪水が襲ってきた。その中で、この洪水(通称・56水害)は最大規模の水害だった。千歳川放水路計画の発端となり、北海道開発局が治水事業を見直す契機となった。

◆治水効果

昨年9月9日から13日まで、道内は停滞した前線に台風の影響が加わって集中豪雨に見舞われた。石狩川下流域の総雨量は172ミリ。75年8月の洪水発生時に匹敵する雨量だったが、被害は最小限に抑えられた。

「治水対策の効果があった」と、石狩川開発建設部の高橋季承計画課長。堤防のかさ上げ、川のしゅんせつ・掘削に加えて排水機場、石狩放水路の効果があったという。

高橋課長は「しかし、想定規模を上回る洪水が発生する可能性は否定できない」と慎重だ。

◆治水事業の開始

石狩川で1898(明治31)年、大規模な洪水が発生。112人が死亡し18万6000戸の家屋が被害を受けた。本格的な治水事業の着手のきつ

かけになった。

札幌農学校工学科第一期生で、のちに道庁石狩川治水事務所長を務めた岡崎文吉(1872~1945年)が調査に当たり、10年を超える実地調査や研究の報告書がまとめられた。

これに基づき1910年以降、治水工事がスタートした。岡崎の計画した「岡崎式単床護岸(コンクリートマットレス)」は、下流の一部に今も残る。

濁流に感じる叙情——明治初期の石狩川

明治初期、現在の当別町に入植した岩出山藩の伊達邦直主従をモデルにした本庄睦男(1905~39年)の小説「石狩川」は、開拓期の石狩川を描く。

新たな開拓地を探して主人公の阿賀妻謙らがトウベツ探検に出かけた折、配下の武士が洪水で濁流にのまれる。本庄は「暗い雨空をうつした上に、泥土や砂礫(されき)を溶しこみ、くすぶった色でさまざまな流木を内部にかくしていた」と表現した。

初版本のあとがきで本庄は「おこがましくも作者は『石狩川』の興亡史を書きたいと念願した。

川鳴りの音と漫々たる洪水の光景は作者の抒情(じょじょう)を掻(か)き立てる」と記している。「川鳴りの音と漫々たる洪水の光景」は、本庄が筆を執った原点であり、石狩川は現在とは比べものにならないほど暴れることが多かったことを想像させる。

私と遺産

石狩史研究はライフワーク

北海道開発局に勤めていた坂田資宏(もとひろ)さん(71)「札幌市南区」が小説「石狩川」に出合ったのは約40年前。農地改良のため長期滞在した当別町内の寄宿先で読み、史実と符合する地名、登場人物などに興味を持った。

坂田さんは休日になると、町内の旧家を訪ねてモデル調べを始めた。「細かなデータは違っているけど、小説は全体として当別の歴史そのもの」と坂田さん。いつしかライフワークになり、開発局を定年退職後は当別町の歴史研究専門員として町史の研究に当たる。

毎週3回、町中心部のビルにある当別歴史研究室に通い、古文書をひもとく。記者が取材に訪れた日、小説の主人公のモデルとなった我妻謙の家に残された文書の整理に追われていた。坂田さんは「当別移住のきっかけとなった戊辰戦争における岩出山藩の戦いを明らかにしていきたい」という。歴史遺産としても、石狩川はとうとうと流れ続ける。

歴史のロマン かきたて

檜山管内上ノ国町の夷王山（いおうざん）（159メートル）に登ると、眼下に天ノ川が日本海に注ぎ、河口の両側に湾曲する海岸線を一望できる。中腹に広がるのが1470年代に築城された山城「勝山館」の跡だ。城には推定200戸近い和人とアイヌ民族とが一緒に1世紀以上も暮らし続けた。現地に立つと、500年前の中世へのロマンをいや応なしにかきたてられる。23年前に始まった発掘調査で既に10万点の遺物を掘り出し、今後も続く。

◆アイヌ民族と

北海道遺産に選定されたのは15世紀の和人の山城、勝山館、花沢館と洲崎館の跡。中でも勝山館跡は35ヘクタールと最も大きく、発掘も先行している。二つの沢に挟まれた小高い丘という地形を利用した自然の砦（とりで）であり、漁師や鍛冶屋も暮らす生活圏だった。

勝山館を築いたのは松前藩の祖とされる武田信広。武田は花沢館のあるじ、蛸崎季繁の客将として1457年のアイヌ民族・コシヤマインとの戦いに勝ち、その手柄で洲崎館を築き、やがて新しく築造した勝山館に移り住んで地歩を固めた。

発掘調査で、館の背後の650基の墳墓群から和人の墓の間にアイヌ民族の墓も確認され、両者の「混住」が確定的となった。当初から発掘調査

に携わる同町教委文化財課主任学芸員の松崎水穂さん（55）は「和人对アイヌという対立的な図式ではこうはならない。お互いに受け入れていたのではないか」と話す。

館主が住んでいたらしい住居跡から、専用井戸や鉄・銅の加工場跡も確認された。陶磁器、木製の浮き（漁具）、ニシンやマダイの骨、アイヌ民族が作ったとみられるシカやヒグマの骨の狩猟道具（骨角器）など、人々の館での暮らしの遺物も多数発掘された。

◆防御に優れた館

勝山館の正面に行くには木々が生い茂り、S字カーブの上り坂が連続する細い山道をたどるほかない。館を攻撃する側は見通しが利かず、自分を防御兵に裸でさらすことになる。

15分ほど登ってようやく視界が開く。勝山館は段々畑のように3段の平坦（へいたん）部に区切られる。手前の第1平坦部と中央部の第2平坦部との間には、深さ8メートルのV字形の空堀（水を張らない堀）が22メートル間隔で2列横たわり、館を守っている。空堀を築くために掘り取った土量は10トンダンブカー1100台分にのぼった。

背後のからめ手にたどり着くことも地形的に難しく、防御能力に優れた館だったようだ。



◆町民参加の発掘

長年にわたる発掘調査に多くの町民が参加した。中でもベテラン主婦3人は、豊富な経験から得意分野ごとの調査補助員の役割を担い、現場のリーダー的な存在だ。

土の色や硬さで古さを判断する土層の識別は、上ノ国町豊田の竹内江美子さん（48）に任せられている。「子供が風邪をひくと、祖父母に預けて発掘を続けた。神社跡から多量のおさい銭が出たときはびっくりしました」と振り返る。

焼き物の見分け方が得意な同町大留、山崎洋子さん（55）は「茶道具が見つかったとき、実際にお茶をたしなんだ生活があったと知り、すごいところだと思った」と興味津々。建物に詳しくなった同町大留萌、笠谷奈智子さん（49）は「土の下に柱の跡があるなんて信じられなかった。次に何

が出てくるか楽しみ」と好奇心旺盛だ。
現場から歴史を解き明かすのは町民の手だ。松崎さんは「皆さんが得意分野を見つけ、工夫を重ねていろいろな力を出し合う。町民の協力なしで調査はできない」と強調する。

まちつくりと遺産

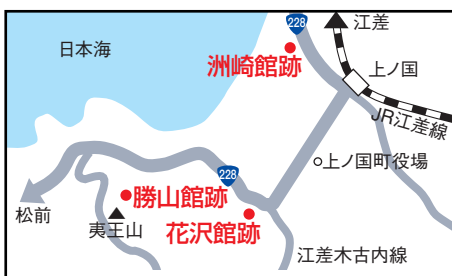
新たな観光地に

勝山館跡が北海道遺産選定を受け、新たな観光スポットになろうとしている。江差、上ノ国、松前の3町を結ぶ国道228号を「歴まち街道」として、観光バスが4月下旬から夷王山駐車場に停車し始めた。

バスの観光客が館跡の近くを探訪する機会もある。上ノ国町企画政策課の疋田英夫課長は「段階的に整備し積極的に公開したい。03、04年度には一部を復元して説明案内板も設置し、将来は観光資源として生かしたい」と話す。

同町教委文化財課の渡部孝之課長は「多くの方が現地に立って、中世の人々の生活を実感してほしい。北海道に、開拓使が置かれる前の歴史があることを理解したうえで、北海道の歩みを考えてほしい」と力説する。

Data



●お問合せ先
上ノ国町教育委員会文化財課 Tel.01395-5-2230

民族文化、 華やかに伝える

盆を彫る貝澤貢男さん（平取町在住）

私と遺産

「独特の曲線美」 求める名工の血

二風谷に「北の工房つとむ」という木彫品店がある。店主の工芸家、貝澤徹さん（43）は今年2月、第35回北海道アイヌ伝統工芸展の伝統工芸品部門で知事賞を獲得した。受賞作品は、直径70センチの盆。モレウやラムラムノカが複雑に絡みあっている。

貝澤さんは「名工」と呼ばれたウトレントクさんを曾祖父に、祖父も父も工芸家という環境で育った。高校卒業後は当然のこととして家業に就き、ペン皿を手はじめに木彫品を制作した。クマやフクロウを彫るのと違い、アイヌ文様に心理的な抵抗があった。「20代まで『アイヌはいやだ。アイヌ文様は彫りたくない』と思っていた。アイヌ文様を最初に彫ったのは32歳ぐらい。そのころ、自分がアイヌであることに対応でき、受け流すことができた」という。

二風谷で客死した英国人医師・マンローのアイヌ工芸コレクションを今年初め、英国のエディンバラでじっくり見てきた。魚盆、小刀（マキリ）、酒を神に捧げるはし（イクパスイ）などの文様に、貝澤さんは目をみはった。「マキリ一本で彫って仕上げた。それなのにラムラムノカは私の作品よりきめ細かい。独特の曲線も美しかった」。自分もその技術を会得したいと願う。



日高管内平取町二風谷にある町立二風谷アイヌ文化博物館。その展示室に、さまざまなアイヌ文様の刺しゅうを施した着物や頭巾、彫刻を施した盆やたばこ入れが並ぶ。天井からアイヌ文様の15枚の布がつり下げられ、民族文化を華やかに伝えている。

◆差別超え「道民の宝」に

同博物館と近所の「萱野茂二風谷アイヌ資料館」にある生活用具1121点が今年2月、国の重要有形文化財に指定された。これらの指定文化財に刺しゅうや、切り抜いた白布を生地に張りつける切伏（きりふせ）、彫刻でアイヌ文様が描かれる。同博物館の学芸員、吉原秀喜さん（44）は、「ちよつとした空間があれば文様を施す習慣が、少なくとも縄文期以来受け継がれてきた」と話す。同博物館によると、成人前の娘は針仕事を身につけることが義務だった。若い男性に自分が刺しゅうした手甲（てっこう）、脚半を贈るのは「妻

の仕事を一通りこなせるようになったよ」というメッセージだった。また、男が木彫りが上手なのは、刃物を巧みに使える証拠。狩猟に必要な弓矢やワナを立派に作ることができるので、食べ物に困ることはないという意味になる。年ごろの男は腕によりをかけて彫り物をして好きな娘に贈ったという。

アイヌ文様の基本は、渦巻き（モレウ）とげのある形（アイウシ）うろこ（ラムラムノカ）の3種類。これらを組み合わせ、連続した線で結んでいく。吉原さんは特にモレウを重視し「一つの要素、パーツにとどまらず、文様全体をコントロールし周囲に展開する役割を持つ」と語る。

着物の場合、普段着はよそから侵入されやすい「すそ」「えり」「そで」などに文様を描いた。渦巻きやとげが苦手な悪魔を追い払う意味があった。踊りや祭礼に着的る衣服は背中や全身に文様が描かれた。

明治以降の中央政府のアイヌ同化政策のため、サケ漁、入れ墨、アイヌ語など多くのアイヌ文化が失われ、さまざまな差別と就職など実生活の不利のため「アイヌ的なもの」を自ら避ける傾向も出た。アイヌ文様の伝承も危うい時代を経て、ようやく道民の宝（北海道遺産）と認められる時代が来た。今、アイヌ文様の工芸家は道内で数百人にのぼる。

まちづくりと遺産

アイヌ民族の文化と歴史は平取町の個性だ。同町はこの個性を町外に強調する計画だ。

まず、アイヌ文様を基本にしたロゴマークを作成する。町外へ発信するパンフレットやポスターに印刷する。

次に、アイヌ語に由来する町内の地名を調査し、研究者や町民が自由に検索してその意味を知ることができるシステム作り。その土地に03年度から地名看板を設置する。

看板のデザインにアイヌ文様を活用するアイデアも出ている。

二風谷工芸センターは、地域に住むプロの工芸家を講師に、アイヌ文様のコースター作りを手ほどきしている。町立二風谷アイヌ文化博物館、萱野茂二風谷アイヌ資料館、マンロー記念館とともに民族文化を人々に伝えている。

Data



●お問合せ先

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

Tel.01457-2-2892

咲き誇る花、空舞う野鳥 草原の道は「龍宮街道」

私と遺産

保存し後世に伝える

サロマ湖の開口部に通じる道路の舗装（78年）と栄浦大橋の架橋（88年）で、ワツカ原生花園を訪れるマイカーが急増した。所かまわず歩き回る観光客に草花は踏みつけられた。自動車のタイヤ跡が刻まれ、盗掘された。常呂町教委文化財係学芸員で郷土研究同好会事務局長の佐々木覚さん（54）は「楽園はひん死の状態に陥った」と話す。だから「車の乗り入れ禁止と、観賞を散策路からに限ったのは大英断でした」と、高く評価する。

佐々木さんは94年から自然保護監視員となった。徒歩で園内を回り、花の状態を見て日誌に記録した。

同好会は常呂町の歴史、自然、風土をテーマに「常呂文庫」を15回発刊した。「ワツカ・その自然」を執筆、編集した佐々木さんは「単なるガイドに終わらず、保存し後世に伝えることに力点を置いた」と話す。

まちづくりと遺産

町の大きな誇り

——常呂の「自然環境保全宣言」

かけがいのない大自然の営みを後世に伝



ワッカ原生花園は、網走国定公園にある日本最大の海岸草原。年間3万4000トンの水揚げを誇るホタテ漁業、国内最多の2500カ所余りの堅穴が残る国指定史跡・常呂遺跡、全国に知られるカーリングと並び、5100人の常呂町民の宝だ。

常呂町は91年、草原を横断する町道24キロからマイカーを締めだし散策路とした。年間約4000万円にのぼる国からの道路交付金を返上するというつらい決断だったが、「かけがえのない花園を守り後世に残そう」という強い思いが勝った。

約1万年前、段丘が結ばれて砂州となり、オホーツク海とサロマ湖を隔てた。そして幅200〜700メートル、長さ20キロの草原が生まれた。「地球の造形芸術作品」は面積約700ヘクタール。草原、湿原、砂浜、湿地、樹林地帯があり、多様で豊かな生態系が息づいている。

「ワッカ」は「水があるところ」を意味するアイヌ語の「ワッカ・オイ」。こんこんとわき出す泉が草原の生命をはぐくんできた。風が強く、土質の水けが良いため樹木が育たず草原が生まれたという。

春から秋にかけて、色彩と香りの豊かな交響曲を奏でる花は三百数十種。1921（大正10）年6月に訪れた文学者、大町桂月は色とりどりに咲き誇る花と青空に舞う野鳥に心を奪われ、常呂から湧

別に通じる草原の道を「龍宮街道」と命名した。

オホーツク沿岸が海明けする4月下旬、紫色のスミレを序曲に黄色のセンダイハギの群落が春らんまんを奏でる。初夏はオレンジ色のエゾスカシユリ、エゾキスゲ、スズラン、鮮やかな青のムシヤリンドウ、真紅のハマナス。9月に入るとアツケシソウが色づき、紅葉とサロマ湖の夕日に観光客は息をのむ。

草原に隣りあった「ワッカの森」にミズナラ、カシワの大き木が生い茂り、カッコウ、ウグイス、アオサギ、ヒバリなど124種の鳥が鳴き交わす。キタキツネ、エゾシカ、エゾリスも姿を見せる。

「龍宮街道」で潮風を胸いっぱい吸い込み、自転車のペダルを踏み心地よい汗を流す若者。馬車に揺られながら、ゆつくりと花に見入る熟年夫婦。観光客は1年で8万人を超える。

Data

幅200〜700m、約20kmに及ぶ砂州に展開する日本最大の海岸草原で、網走国定公園の区域に指定されている。300種以上の草花が咲き、1991年には植生環境の保全を目的に一般車輛の乗入れが規制された。



●お問合せ先
常呂町経済部産業課観光係
Tel.0152-54-2111
サロマ湖ワッカネイチャーセンター
Tel.0152-54-3434／4月下旬〜10月まで

え、人類の未来を共有するために……

常呂町は98年、町議会の全会一致の採択に基づいて「ワッカ自然環境保全宣言」をした。同町の長谷川京・企画財政課長は「小さな町の大きな誇り。これからも官、民、学が一体で花園を守ります」と語る。

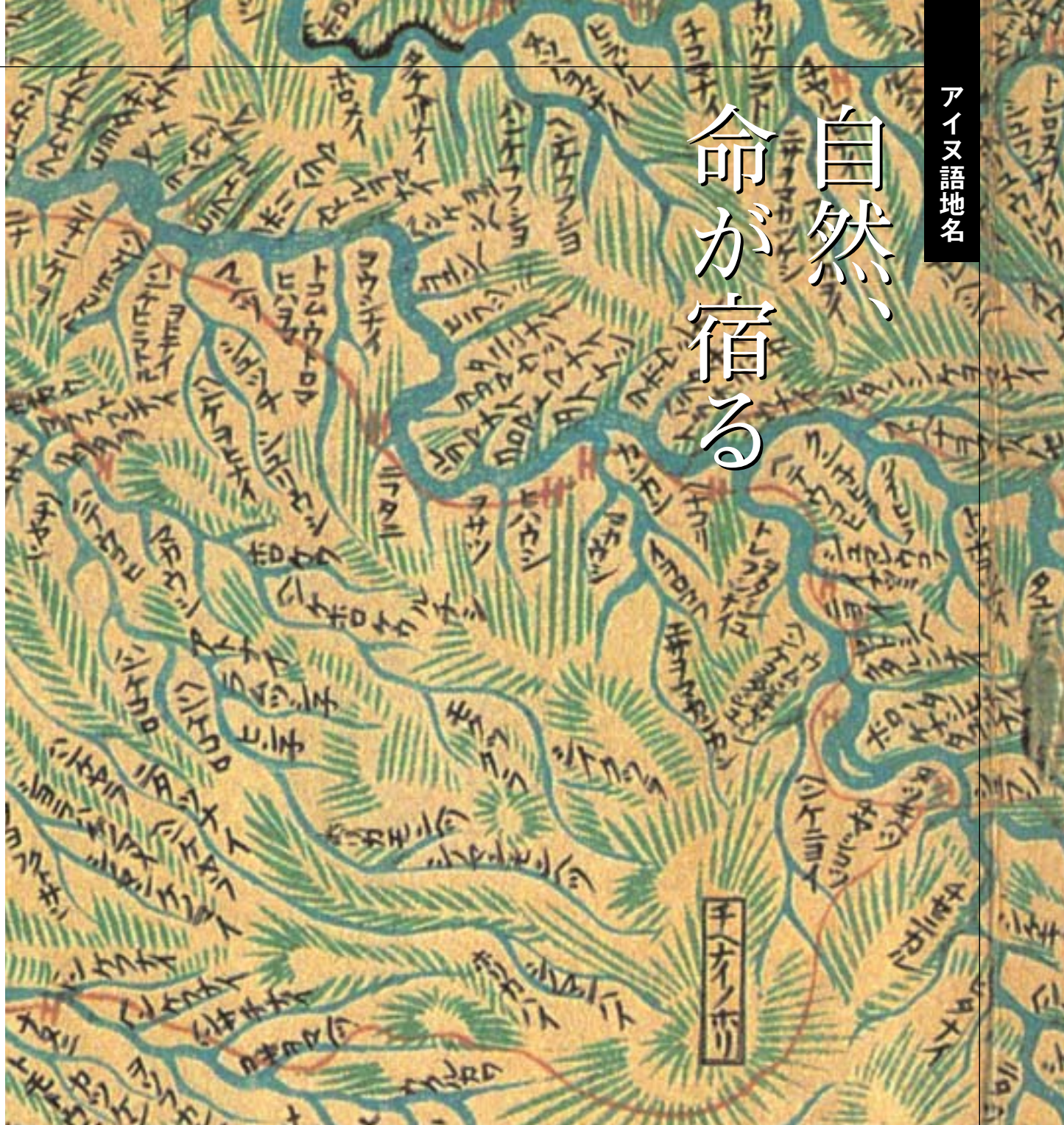
「クリーンアップ・ワッカ」。84年から常呂高校が全生徒で雑草のヨモギ駆除に汗を流す。「ワッカネイチャースクール」を開く常呂小の子供たちは、自然の素晴らしさと環境保護の重要さを学ぶ。

常呂農協青年部は「花と羊のプロジェクト」の名で98年から花園に羊を放牧し、その雑草駆除効果を調査するよう東京農大に依頼した。

「森は恋人・川は仲人」を合言葉に、30年前から常呂川上流の山と流域に植樹を続けているのは常呂漁協婦人部。これまでに約52万本を植え、漁協創立100周年の2012年までに合計100万本とする計画。魚を増やす「魚つき林」の成長を見守る。

原生花園の拠点「ワッカネイチャーセンター」で、植物の写真パネルや「ワッカ・四季紀行」ビデオを観賞できる。同町は常呂遺跡の出土品を展示した「遺跡の館」、縄文・擦文期の復元住居を見学できる「遺跡の森」をセットにして、観光客にアピールする計画だ。

自然、 命が宿る



「山川地理取調圖六」(松浦竹四郎著)より ―現在の平取町付近―

私と遺産

2、3割、原形とどめず

旭川市立忠和中学校長の尾崎功さん(58)は8月に「アイヌ語地名地誌―上川盆地の川と山」を自費出版した。

「このへんはシカやクマが通ったんだとか、イトウがいたんだとか、ギョウジャニンニクが取れたんだとか」。アイヌ語は研究すればするほど、この地域がかつてどんなところだったのか連想できるんですよ」。尾崎さんはアイヌ語研究の魅力をこう語る。

尾崎さんが研究に取り組んだのは名寄市の中多寄小学校長だった5年前、松浦武四郎セミナーで研究発表したのがきっかけ。その後、アイヌ語地名研究会に入会し、天塩川流域のアイヌ語地名の本2冊を出版した。

今回は上川地方のアイヌ語の集大成。石狩川、美瑛川、忠別川、愛別川など9河川の流域を調べ上げた。2、3割はアイヌ語地名の原形をとどめていないといい、尾崎さんは「川はコンクリートの護岸になり、東2号川とか面白みのない名前がついていたりする。地名だけは残したい」と力を込める。

「アイヌ語地名地誌」は1200円。旭川市の富貴堂書店で扱っている。

平取町二風谷のカンカン(動物や人間の大腸・小腸)沢から見る夏至の日の夕陽は『オブシヌプリ』(穴があいている山)にびたりと入る。オブシヌプリに伝わる伝説は、昔、十勝地方のアイヌが沙流川に攻めてきたとき、オキクルミカムイ(生活文化を伝えた神)が、互いに血を流すことを避けるために技くらべをしようと提案。最初にオキクルミがよもぎの矢を川向こうの山に射ると、見事に岩山に穴があいた。十勝からきたアイヌはそれを見て度肝を抜かれて帰っていった、というもの。



かつて旭川市西部にある山の大きな岩石付近に、ワシやタカが生息していた。アイヌの人たちはいつしか、山周辺の地域を「チカプニ」と呼ぶようになった。「チカプ」はアイヌ語で鳥、「ニ」は場所を意味する。

◆かつての姿、連想できる旭川市近文(ちかぶみ)。「チカプニ」が音訳されてできた地名だ。かつて近文アイヌコタン(集落)があった。

地名の由来となった岩石は今の近文山にあり、そこから嵐山にかけて一帯は聖地(チノミシリ)でもあった。

「アイヌ語の地名はそこが良い所なのか、悪い所なのか。何が採れるのか、どんな生き物がいるのか分かるんだよ。子供のころ祖母から『ウエンナイには行くな』と言われた。悪い場所という意味で、行ってみるとがけの、ひどいところだった」。近文で生まれ育ったアイヌの杉村フサさん(73)は語る。アイヌ文化伝承者の1人だ。

近文から南西に春志内(はるしな)という所がある。「食料が群生する沢」という意味のアイヌ語「ハルウシナイ」が由来とされる。

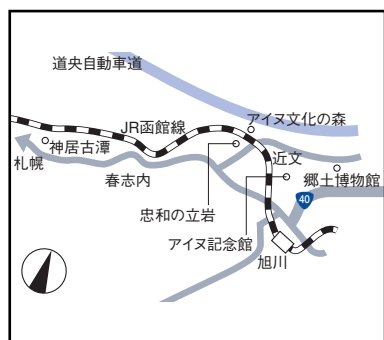
さらに南西に、景勝地として有名な神居古潭(かむいこたん)。「カムイコタン」は「神の居所」という意味だが、ここの神は魔神。川の流れが急で転覆事故が相次ぎ、アイヌに恐れられていたという。点在する岩は魔神が退治され、バラバラになったものという伝説が残る。

杉村さんが子供のころ、自宅の窓から遠くの山々が見渡せた。南東には大雪山系、北西には嵐山。近くには小川がせせらぎ、ドジョウがたくさん生息していた。雪解けになると、母とともに山で木を採取。ハルウシナイなどで山菜を採っては保存した。いずれも厳しい冬への備えだった。秋には川にサケがうようよしていた。

近文コタンは今はない。嵐山公園にある「アイヌ伝承のコタン」など、一部にその名残があるにすぎない。アイヌ語を話せる人もいなくなった。

「川を改修して、魚を住めなくして。洪水が起きるなら、そこに住まなければいい。危ないなら、川に近づかなければいい。自然がなくなつたのはくやしいよ」。杉村さんの表情が曇った。

Data



●お問合せ先
平取町二風立アイヌ文化博物館
Tel.01457-2-2892
旭川市教委生涯学習課文化振興係
Tel.0166-25-7558

まちづくりと遺産

道など、アイヌ語併記の看板設置

北海道の地名のうち約8割がアイヌ語由来とされる。北海道開発局や道は、アイヌ語を併記した看板を設置するようになった。

旭川市は昨年7月に「アイヌ語地名表記推進懇談会」を設置、学者やアイヌ語研究家、アイヌ民族の市民の計7人で検討を重ねている。97年のアイヌ新法制定を受け、市はアイヌ文化の振興策を検討していた。「地名から入れば市民がアイヌ語に興味を持ち、文化にも関心を持つようになる」(市教委文化振興係)という発想だ。

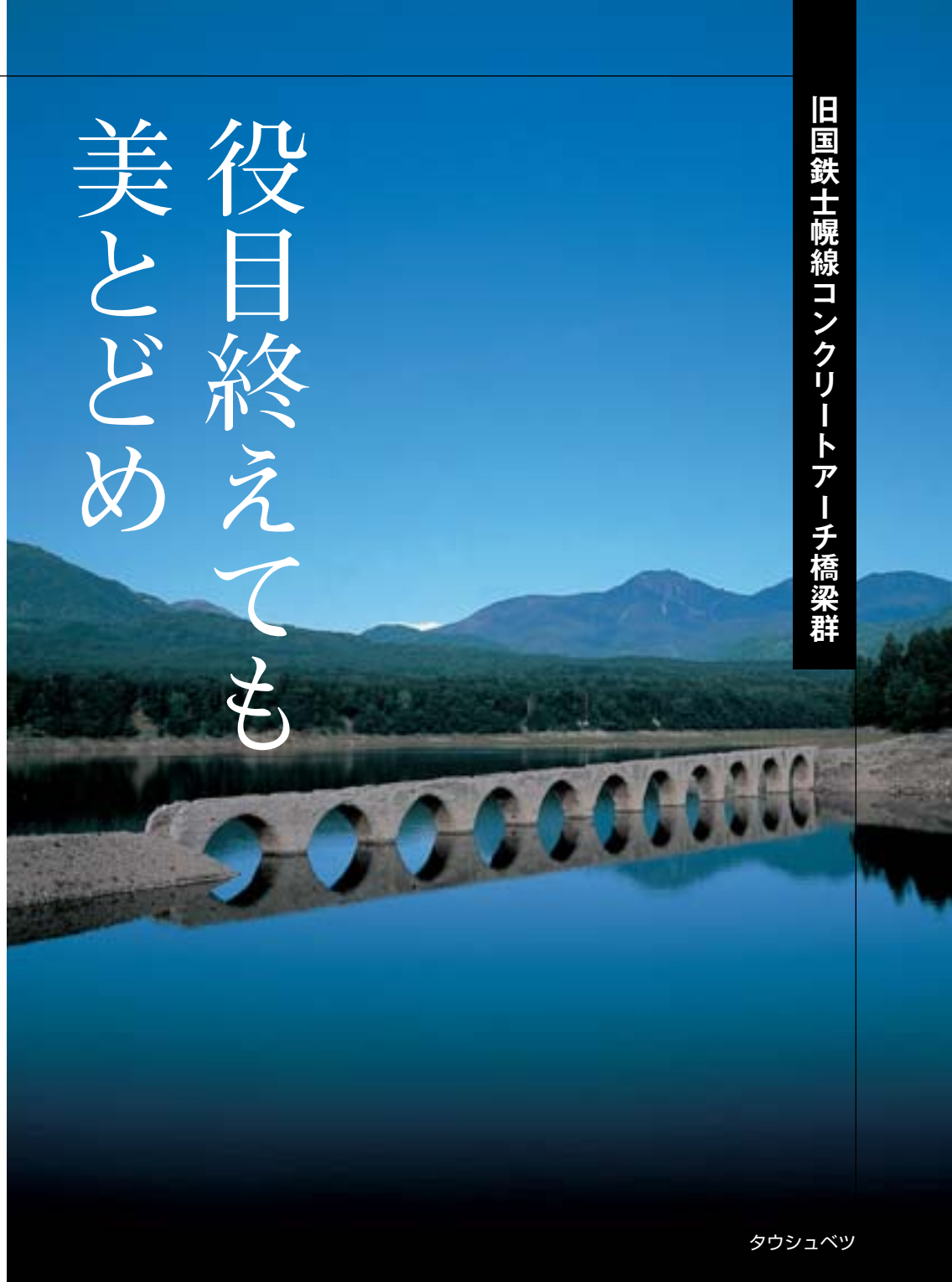
来年中に、市内の約5カ所にアイヌ語と日本語を併記した看板を設置する予定。忠別川、牛朱別川、神居古潭、近文など約30カ所が候補に挙がっている。

従来のアイヌ語を併記した看板には、アイヌ語が小さく表記され由来の分からないケースもあった。同文化振興係は「アイヌ語と日本語の地名を同じ大きさにしたい。どうしてこの地名ができたのか由来の分かるものにしたい」と話している。

役目終えても 美とどめ

十勝管内上士幌町役場企画課の平岡崇志さん
(26) がある日、同行をお願いした。

同町の市街地から国道273号を車で北上し、
糠平湖北端の丸山橋を渡って右折。林道をしばらく
く走ると、タウシュベツ川橋梁(きょうりょう)
が見えた。



タウシュベツ

この橋は長さ130メートル。糠平から十勝三
股にかけて約50本にのぼる旧国鉄士幌線コンクリ
ートアーチ橋梁群の中で、最も長い。柱の間が10
メートルのアーチが11基連続し、薄いページ色
が美しい。

近くで見るとコンクリートの外壁が朽ち始めて

私と遺産

残したい”埋もれた宝“

「ひがし大雪アーチ橋友の会」の事務局長と
して、保存運動の中心的な役割を担っているの
が角田久和さん(50)。広島市出身で10年前、
夫人の実家がある上士幌町に移住した。本業は
角田建築事務所を経営する一級建築士。「友の
会」の事務局は建築事務所内にある。

角田さんらは97年「地域の宝さがしの会」を
発足させた。後世に残したい埋もれた宝の発掘
に努め、秋に掘り残したジャガイモが凍結を経
た翌年春、意外にうまくことを発見した。音更
川を利用した木材流送の基地を捜し、馬頭観音
を探った。食べ物や花、動物も宝さがしの対象
だった。

アーチ橋も、もちろん貴重な宝。だから、ア
ーチ橋を取り上げたシンポジウムでの呼び掛け
に応じ、角田さんは「保存する会」の発起人に
名を連ねた。

「アーチ橋の活用で全国から滞在型観光客を
呼び込めたら町おこしになる」と張り切る。

まちづくりと遺産

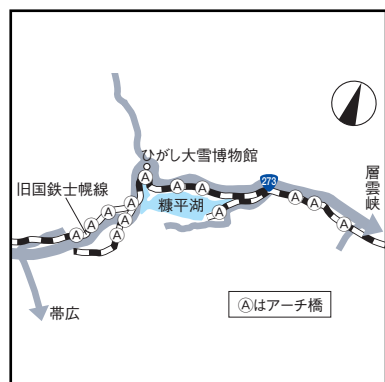
旧国鉄士幌線の廃止で、旧国鉄清算事業団は
上士幌町にアーチ橋を解体・撤去する方針を示
した。解体の危機を前に、北海道産業考古学会
は97年7月、同町で「上士幌鉄道アーチ橋と産



Data

土幌線は十勝北部の農産物や森林資源の開発に貢献したが、1000mで25m登る急勾配と半径200mのカーブが続き、終着の十勝三股駅は海拔661.8mという本格的な山岳鉄道でもあった。そして音更川の溪谷に沿って作られたため多くの橋を架ける必要があったが、コストをおさえるために現地でとれる砂利や砂を使って建設できること、また大雪山国立公園内の溪谷美に合う橋にすることからアーチ橋を架けることとなった。

土幌線：1937年・上土幌～糠平間開通
 39年・糠平～十勝三股間開通
 78年・糠平～十勝三股間廃線
 87年・帯広～糠平間廃線



●お問合せ先
 上土幌町企画課 Tel.01564-2-2111
 ひがし大雪アーチ橋友の会事務局
 Tel.01564-2-3358

国道に戻って再び北上すると約5分後、第5音更川橋梁（長さ109メートル）が見えた。柱の間が10メートルのアーチが連続し、川をまたぐ部分の間隔は23メートル。さらに数分後、第6音更川橋梁（長さ96メートル）が見えてきた。周囲の樹木に隠れるように、けわしいがけ地に架けられている。

旧国鉄土幌線は帯広駅から上土幌町の十勝三股駅まで延長78・3キロ。帯広～上土幌間が1926年に開通し、39年に十勝三股まで延びた。線路は音更川の溪谷に沿っていたため多くの橋を架ける必要があり、大雪山国立公園内の溪谷美と調和

するデザインにしようとコンクリートアーチ橋を採用した。

土幌線は十勝北部の森林資源と農作物の輸送に貢献したが、車社会の到来で78年に糠平～十勝三股間がバス転換され、87年に全線が廃止された。



第三音更川橋梁

業遺産の保存活用」というシンポジウムを開催。研究者たちは「アーチ橋の保存運動に乗り出してほしい」と地元要請した。

同町のまちおこしグループ「地域の宝さがしの会」がこれを正面から受け止め、同会を母体に同年10月「ひがし大雪鉄道アーチ橋を保存する会」が結成された。

署名運動や保存活用策の提言など活発な運動を展開。この運動が上土幌町役場を動かし、1年後の98年10月、旧国鉄清算事業団が同町に橋梁群と線路跡地の一部を無償譲渡する契約が結ばれ、保存が決まった。それ以降、これまでに同町は大小34のアーチ橋を取得した。このうち4本は国の登録有形文化財に指定されている。

上土幌町役場では企画課ひと・まちづくり推進室がアーチ橋梁群の保存・活用策を検討。環境省の「長距離自然歩道構想」に沿って、旧国鉄土幌線線路跡地を整備する計画案が浮上している。

民間レベルでは「保存する会」を継承して99年10月、「ひがし大雪アーチ橋友の会」（坂本徳寧会長、会員236人）が発足。アーチ橋散策地図の作製や遠足、線路跡地の草刈り、フォーラムの企画、会報「めがね橋だより」発行など活発に活動してきた。

このあと、写真集の出版やアーチ橋利用プラン作りを計画。登録文化財がある市町村で作る全国近代化遺産活用連絡協議会の来年度総会とシンポジウムを誘致し、アーチ橋の保存・活用に弾みをつけたと考えた。



屈斜路カルデラが現在の形を見せ始めた7000～8000年前、大噴火で山が消え、大地が陥没して水がたたえられ摩周湖が誕生した。阿寒国立公園のなかでも特に、原始の自然に囲まれた湖は訪れる人の心を捕らえて放さない。夏の湖を覆う変幻自在の霧、霧氷が輝く厳寒期の湖。「神秘の湖」と呼ばれる。周囲をカルデラ壁に取り囲まれた湖面標高は351メートル。湖面面積19・2平方キロとそれほど大きくはないが、水深は211メートルもある。

この湖は不思議なことに、流れ込む川も流れ出す川もないのに水位が一定に保たれている。鍋形の湖は、水が染みにくい岩盤でできているといわれる。そのうえ、水が通りやすい地層が湖面の約1メートル上にあり、外輪山の山肌から流れ込む水がそこから伏流水として流れ出すからと考えられている。

乳白色の霧には2種類ある。地元の人が

私と遺産

自然がくれた財産

「私が摩周湖を意識したのは20歳代半ばです」。摩周湖世界遺産登録実行委員会の会長で、燃料販売業を営む桐木（きりのき）茂雄さん（39）は苦笑いする。

弟子屈で生まれ育った桐木さんに摩周湖は「ごく普通の湖にしか過ぎなかった」。高校卒業後に東京の専門学校で経理を修め、札幌のプロパンガス販売会社に3年勤めてから家業を継いだ。

取引先の人を摩周湖へ案内することになった。取引先の人を摩周湖へ行くのはいやだったが、上司の指示なので「仕方なしにハンドルをにぎった。展望台に立ち、目に飛び込んできた風景とすがすがしい空気に「自分の町にこんなすごい所があったんだと感動。初めて摩周湖を意識しました」という。

桐木さんは、仲間と町の将来を語りあい「摩周湖を核に経済、文化、教育を考えよう」との結論を得た。「そのためには自然の保全が最も重要。摩周湖は自然が私たちに与えてくれた財産。大切に残したい」と話す。

まちづくりと遺産

世界遺産目指し、

ごみ減量に挑む

よそものの霧 自前の霧

Data

湖面面積：19.2km²（長軸6.75km、短軸3km）
湖面標高：海拔351m（周囲を海拔500～700mのカルデラ壁が取り巻き、湖面との比高は150～350mに及ぶ）
水深：最深211.4m（平均137.5m）
注入河川：なし
排水河川：なし

摩周湖宣言

本日ここに集まった摩周湖シンポジウム参加者は、摩周湖や周辺環境の保全に向けて以下宣言します。

- 1.我々は、かけがえのない摩周湖の美しさを恒久的に維持させていくために、摩周湖を中心とした周辺地域の環境保全に全力を挙げて取り組み、環境と調和したライフスタイルの実現を目指します。
- 1.我々は、摩周湖が北海道遺産に選定されたことを郷土の誇りとし、これを契機として、摩周湖を含めた郷土の宝を守り、後世に引き継いでいく精神を育んでいくためにも、摩周湖がユネスコ世界遺産に登録されるよう地元のみならず、全国の多くの摩周湖ファンとともにそのための活動を行っていきます。

平成13年11月18日

摩周湖シンポジウム参加者一同



●お問合せ先

弟子屈町商工観光課観光振興係 Tel.01548-2-2191
弟子屈町企画振興課企画振興係 Tel.01548-2-2191

「よそものの霧」と呼ぶ霧は暖流と寒流がぶつかる釧路沖で生まれ、南風に運ばれて内陸に入り込み釧路湿原、根釧原野を経て摩周湖へたどり着く。

「自前の霧」は気温と湖水の冷たさの差が大きいときに発生する。観光シーズンの5月

8月に多い。展望台から見ると、カルデラ壁を霧が伝い下りる様子や、湖面を覆う霧の向こうに摩周岳を望む、雲上からのような景観など、その都度違った表情が見られる。

冬の顔は「霧氷」。氷点下20度を超える厳寒のなかで霧が発生し、風がないときに木の枝に咲く。しかし、その氷は繊細で、日が当たると10分余りで消えてしまう。

青く澄んだ湖水は、1931年の観測で透明度41・6メートルを記録し世界一を誇った。最近では30メートル前後だが、それでも世界屈指だ。

湖に顔を出す小さな中島。その昔、稚内の方にいた首長が殺され、孫を抱いて逃げた老女が孫を見失い、捜し歩いた末に摩周湖で寝込みそのまま島になった——などと伝えられる。

弟子屈町は摩周湖をはじめ屈斜路湖、硫黄山、川湯温泉と観光資源に恵まれている。昨年度、122万人の観光客が訪れた。宿泊客はこのうち46%で「5割台に乗せるのが当面の目標」（伊藤昌行・同町企画振興課課長補佐）という。

同町は今年度初めて、昨年5月発足した町おこしグループ「摩周湖世界遺産登録実行委員会」（桐木茂雄会長、200人）に85万円を助成した。同委員会は勉強会を2年間積み重ね、摩周湖をユネスコの世界遺産に加える運動を始めた。

同委員会は昨年11月「北の大地からの世界遺産」をテーマにシンポジウムを開催。町民との意見交換会を毎月開き、今月20日、摩周湖のごみ拾いをする。11月には「こどもサミット」を開催。世界遺産の先輩、屋久島（鹿児島県）白神山地（秋田、青森県）から中学生を迎える。

同委員会は今年8月、摩周湖展望台に通じる道路の車両乗り入れ禁止、電気バスの運行、展望台付近のレストハウスの山ろくへの移転、摩周湖博物館の設置、ごみの減量とリサイクルなどを同町に提言した。

車両乗り入れ禁止は、市街地と川湯温泉地区に駐車場を造り博物館やレストラン、キャンプ場を併設する構想と一体化している。その経済効果を24億円と試算した。

同町は同委員会と協力、摩周湖に関する資料、研究データの収集を行い「町民は摩周湖の専門家」を目指している。「作るものがここにあり」。同委員会のポスターが町中に張り出されている。

店の数や市場規模、起源… 国民食だけど、 なぜが山盛り



私と遺産

”横綱“に對抗、燃える旭川

旭川市の人気ラーメン店「よし乃」社長の浦野勉さん（66）は、市内の有力店30店をつくる「ラーメンの会旭川」会長。ラーメンによる”まちおこし“のキーマンとして活躍する。

「札幌でおいしい店は10軒に3軒、旭川では10軒に7軒——というのが東京のラーメン通の評価ですよ」。横綱ブランド「札幌ラーメン」への対抗心を燃やす。人口36万人の同市に店は500軒前後。市内で2年以上営むことがラーメンの会の入会条件で、そっくり社団法人「北海道全調理師会」に加入する。ラーメン店が組織化され調理師会に加わるのは、全国的にも異例だという。

「旭川ラーメンの名は確実に浸透している。『他流試合を恐れず、気を抜くな』と会員にはつばをかけています」

旭川市生まれのタ張市育ち。郵便局職員を経て北炭タ張新鉱にもぐっていた。62人が死亡した65年のガス爆発事故を間一髪でまぬかれ、それをきっかけに転進。31歳で店を構えた。「最初の5年は試行錯誤の連続でした」。納得できるものが作れるまでに10年かかった。

「有力専門店を集めた、全国組織を作りたい」と壮大な夢を胸に描く。

Data

●お問合せ先

北海道製麺協同組合

Tel.011-241-1770

(函館ラーメン) 日の出製麺(株)

Tel.0138-77-8189

(旭川ラーメン) 旭川製麺(株)

Tel.0166-82-3545



25件の北海道遺産の中で唯一「味覚」として選ばれたのがラーメンだ。カレーなどと並ぶ国民食。1億総「ラーメン評論家」といっていい。ところが、正確な市場規模も歴史も分からない。全国ブランド「札幌ラーメン」に対して、旭川や函館、釧路などの「地場ラーメン」が続々と名乗りを上げて「戦国時代」に突入した。

調べてみると謎が多い。まず、ラーメン店の数。店の業界団体がいないため、道製麺（めん）協同組合に聞いたところ「専門店もあれば中華料理店もあり、軒数も市場規模も分かりません」（事務局）。

行列のできる店もあれば閑古鳥の鳴く店もあり、競争は過酷。どこかで閉店すればどこかで開店しているといったありさまで、把握は難しそうだ。

ルーツも諸説ふんぶん。1922（大正11）年、札幌・北大前で麺類を出していた「竹谷食堂」の中国人料理人の肉そばがおいしいと評判になった。この料理人が料理を作り終えると「好了！（ハオ・ラーニ出来た）」と叫ぶところから、店主が「ラー・麺」と名づけた——という説がある。

東京・浅草の「来々軒」が明治の終わりにラーメンを出した、という異説も。

戦後の食糧難でラーメンが全国的なブームとなったのは確かなようだ。特に北海道では、富良野や美瑛などの小麦地帯を背景に、札幌や旭川でラーメン店が激増。そして昭和40年代、札幌市でスーパーズにみそを入れる革命的メニューが出現し、札幌ラーメンを全国ブランドに押し上げた。

道地域政策課で北海道遺産の指定に携わった横田喜美子主査は「由来や現況のよく分からない遺産というのも、ユニークですよ」と笑う。

「ラーメン業界は個人主義の世界」と、道内有名店社長は打ち明ける。「スープの製法を店のスタッフが盗んで他店に売り、訴訟ぎたになるなんてザラです」。社長は規模を拡大しても、スープの製法は決して社員に教えないという。

味も盛り付けもまちまち。行列の出来る店が必ずしもおいしいとは限らない。それがまた、魅力なのかもしれない。

まちづくりと遺産

「札幌ラーメン」に対する「地場ラーメン」の挑戦は、旭川市で始まった。同市観光課の長谷川寛治課長は「旭川に来たら、とにかくまずラーメンを食べる——が、観光客の常識」という。

同市で8月の夏祭りに開かれる「ラーメンフェスティバル」が人気だ。目抜き通りの両側にテントが並び、味を競う。「3枚1000円」のチケットで食べ比べもできる。また、同市は毎年、横浜ドームで「ラーメン・ナイター」と銘打ち、観客に3000食の旭川ラーメンを配る。

旭川市を追撃するのが塩ラーメンの有名な函館市。1884（明治17）年5月、市内の「養和軒」が1杯15銭で売り出した南京ソバガルーツと言われ、5月8日を「ラーメンの日」に指定。ラーメンのまち福島県喜多方市に学び、函館市内の専門店が共通ののぼりを掲げる。

今年5月には市制施行80周年記念事業として、全国から有名店を呼んで「函館塩ラーメンサミット」を開催した。

釧路市や岩見沢市でも「地場の味」を活発に売り出す動き。ラーメン戦国時代をどこが勝ち抜くのだろうか。

100年経ても ゆるがぬ機能

私と遺産

世界的な大事業

小樽市在住の小説家、蜂谷涼さん（40）に、小樽港防波堤建設を題材にした著書「海明け」（昨年8月・講談社刊）がある。フィクションでありながら、困難を極めた防波堤建設やそれに携わった人々、当時の小樽の世相を描き、「小樽再発見」の貴重な資料ともなっている。

蜂谷さんは小樽生まれ。東京でテレビ番組の企画やコピー作りに携わる傍ら文筆活動が続け、90年「銀の針」で第11回読売ヒューマン・ドキュメンタリー大賞の佳作を受賞。小説では94年「分別回収」で文学界新人賞候補に、96年「煌浪の岸」で小説新潮長編新人賞候補となった。

7年前、小樽に戻ってから「以前と違った視点で小樽を見つめたい」と題材を考えた。高台にある自宅から毎日、港と防波堤を見るうち「グローバルという言葉がない時代、世界に冠たる防波堤建設は、まさにグローバルで壮大な事業だった」と、小説のテーマに取り上げた。

資料の収集から書き上げるまで約1年。物語は明治・大正時代の小樽を舞台に、独立心旺盛な女性が逆境に負けずに道を切り開き、その過程で防波堤建設の指揮を執っていた幹部と恋心を抱きあうストーリー。当時の小樽の繁栄ぶり



小樽港を外海の荒波から守る防波堤は大きく分けて三つある。このうち、北防波堤が明治時代、国内初の長大堤防として11年がかりで造られ、商都・小樽の繁栄の足がかりになったという大きな業績は、意外と知られていない。100年以上経た今もその機能に少しもゆるぎなく、当時の輝かしい成果を伝える第一級の遺産となっている。

北防波堤の建設が始まったのは1897（明治30）年。当時、小樽港は石炭の積み出しと水産物の輸送で重要性が増し、外国貿易の拠点も視野に入れられていた。だが、波浪によって荷役作業は苦難を強いられ、船の沈没も起きていた。このため、旧北海道庁は国の威信をかけて防波堤建設を決め、小樽築港事務所の初代所長に後に「港湾工学の父」と呼ばれた広井勇・工学博士（1862～1928）に白羽の矢を立てた。

広井博士は高知県生まれ。東京外国語学校で学んだ後、札幌農学校2期生となり、新渡戸稲造、内村鑑三らと研さんを積み、卒業後、米国へ留学。橋造りに関するテキストは世界トップクラスの専門書と称賛された。広井博士は頑丈で耐久性の高い防波堤を目指したが、本州の防波堤建設はコンクリートブロックが海中でひび割れるなど相次いで失敗していたため、ヒントを海外に求めた。セイロン（現スリランカ）のコロンボ港防波堤建設を参考に、ブロックを斜めに積み、脱落を防

ぐとともに隣接するブロック同士が相互にもたれあい、波力を分散させる画期的な工法を取り入れた。コンクリートに火山灰を配合して耐久性を強め1908（明治41）年、1289メートルの北防波堤が完成した。

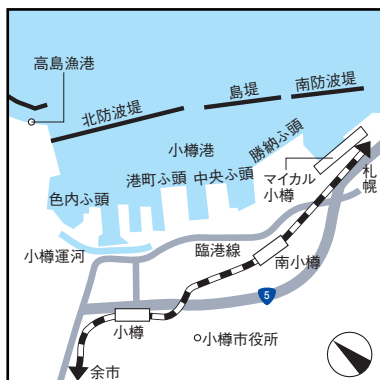
この間、広井博士の心は休まることなく、暴風の日、防波堤が崩れていたら自決しようと拳銃を懷にしのばせていたエピソードが伝えられる。

広井博士の後を継いだ伊藤長右衛門・第2代所長は陸上でコンクリート製の大型の箱「ケーソン」を造り、斜路で海に滑り落とす方法を考案。反対側の南防波堤と中央の島防波堤を手がけた。

日本の防波堤建設の試金石となった北防波堤を命をかけて完成させた広井博士の志と、それに伴う工法は、明治人の気概と優秀な技術の証しとして今も生き続けている。

Data

建設：明治41年完成 総延長：1141m



●お問合せ先
小樽市港湾部

Tel.0134-23-1107

や風俗、人々の暮らしが目に浮かぶほど丹念に描写されている。

蜂谷さんは「人が国家をどう支えていくかを考えながら執筆した。小樽港を題材に書きたいことは、まだ数多くあります」と意欲を燃やしている。

まちづくりと遺産

臨海公園など施設整備進む

小樽市港湾部のまとめによると、01年度の小樽港の貨物取扱量は2330万トンにのぼり、市は港湾関連施設の整備を順次進めている。港に近接して、かつない臨海公園（1万2800平方メートル）運河公園（7762平方メートル）築港臨海公園（1万2663平方メートル）があり、市民や観光客が憩う。

小樽港の歴史を知るには小樽開発建設部の小樽港湾建設事務所に隣接する「おたるみなと資料館」（築港2の2）が最適。港の推移を写真や文献、ビデオで紹介、ケーソンの模型、コンクリートのテストピースの実物、工具類など貴重な資料が多い。

開拓の 原点を見る



〈左〉モデルバーン 〈右〉モデルバーン2階に収蔵される農器具

私と遺産

旧来の技術、きちんと残す

第2農場の建物内には、北海道開拓の父ケプ
ロン米農務長官が1871年に持ち込んだリー
パー（麦刈り取り機）など10点あまりを含め、
約300点以上の農具を収蔵している。農具の
調査や管理にあたってきた北大の端俊一教授
（農業機械学）は「札幌農学校当時を思い起こさ
せる。敬意を払っている」と愛着を持つ一人だ。
端教授自身も北大農学部を1967年に卒業
した。まだ第2農場が利用されていた大学4年
の時に、種牛舎で数日間、行った牧草の乾燥実
験が思い出として残っている。卒業後は4年間
の帯広畜産大助手を経て、助手として母校に戻
ってきた。

100周年（1976年）に際しては、図書
館に保管されているクラーク博士らが開拓使に
出した手紙を手がかりに農具の由来をたどつ
た。「輸入された農具は当時の日本の経済水準
からすると、高額。開拓使が農学校に力を入れ
ていたと感じた」と言う。

第2農場の一般公開に関する専門委員会委員
長を4月から務めており、「新しいものに目が
行きがちだが、今まで培われた技術をきちんと
残していくことが大切。研究者にもぜひ活用し
てほしい」と期待を寄せている。



「第2農場」は、北海道畜産の発祥の地。札幌市北区北18西8の北海道大学構内にあり、国内最古の洋式農業建築物のモデルバーン（模範家畜房）コーンバーン（穀物庫）などが建ち並ぶ。69年、国の重要文化財に指定された。

第2農場は、北大の前身、札幌農学校が開校した1876（明治9）年の直後から1967年まで続いた研究施設で、家畜を使った洋式農法を実践した。1万9000平方メートルの敷地内にモデルバーンやコーンバーン、種牛舎、牧牛舎、脱ぶ室・収穫室・動力室、秤量場、釜場、精乳場、事務所の計9棟が現存する。

モデルバーンは、牛と馬の家畜房や牧草の乾燥室を備える。木造2階建てで、建て床面積は476・9平方メートル。マサチューセッツ農科大の家畜房にならって、同大出身の札幌農学校第2代教頭、ホイラー氏が設計した。初代教頭、クラーク博士の「北海道農業の模範になってほしい」という願いが名称に込められたという。

コーンバーンは、トウモロコシを貯蔵する施設。高床式の木造2階建てで、ねずみ返しを設置されている。1階はすのこ張りで、通気のよい構造。建て床面積は110平方メートル。

ともに建築物としても貴重な価値を持つ。ツーバイフォーの起源といわれる「バルーンフレーム方式」を採用しているのが特徴だ。

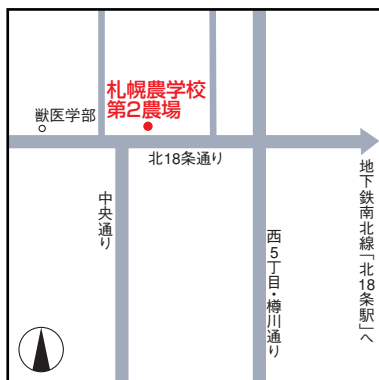
第2農場の歴史は、開校当時のクラーク博士の大農経営構想から始まる。1戸の酪農家をイメージした、北海道開拓の模範農場として発足した。中核施設のモ



デルバーンとコーンバーンは、開校翌年に完成した。以前は現在の図書館周辺にあったが、総合大学へ発展する過程の1911（明治44）年に現在地に移転した。72〜80年に修復工事が行われている。

これまで第2農場で飼育されたホルスタイン種の血統は同大学で今も脈うち、これまでの出産数は雌雄ともに1050頭を超えるという。

Data



●お問合せ先
北海道大学総合博物館 Tel.011-706-2658

まちづくりと遺産

バーンの一般公開、 今後も年2回程度

北大キャンパスの中央通り北端に位置する第2農場は、周囲の騒々しさとは対照的にひっそりとした雰囲気を感じ出している。

入り口近くの事務所で警備員が24時間態勢で見守っているが、敷地内に自由に出入りできる。カメラや絵筆を手にした市民や道外からの観光客が訪れる、“オアシス的存在”でもある。

施設の文化的価値を伝えようと、00年1月の大学評議会は、整備計画を決定し、これまで閉鎖して管理していたモデルバーンやコーンバーンの内部の一般公開への道を開いた。

一般公開は北大創立125周年の昨年と、今年6月の大学祭、今年10月の3回しか行われていない。一方で整備は、敷地に砂利を敷いた歩道や順路の標識を設置し、徐々にではあるが進んでいる。

一般公開は、市民が建物内部を目にする貴重な機会。今後も年2回程度公開していく方針で、端教授は「モデルバーンの家畜房に牛の模型を置くなど、当時の様子を復元していきたい」と抱負を語っている。

古い街並みに異様な熱気 雰囲気高揚 光と囃子

「エンヤ、エンヤ」の掛け声と共に、若者たちが13
台の山車（やま）を引っ張り、笛や太鼓で囃子（はや
し）をかき鳴らした。人口約1万1000人の檜山管
内江差町は異様な熱気に包まれた。毎年8月9～11日

に行われる渡御祭。町内の旅館・ホテルは1年前から
予約で埋まり、6万人とも7万人ともいわれる江差出
身者が帰省し祭りに命を燃やす。その熱狂をリポート
する。

◆山車

1447（文安4）年の創立と言われる姥神（うば
がみ）大神宮。社殿が現在の位置に移された1644
（正保元）年に祭りが始まったと伝えられる。各町内



が誇る13台の山車は、朱塗りが基本。旗や提灯（ちようちん）で豪華に飾られ、祭りの主役を演じる。

松宝丸（陣屋町、海岸町）は北前船をかたどった。その他の12台は2段構造。上段に歴史上の人物の像を乗せ、下段で太鼓をたたく。

山車のサイズは高さ約4メートル、幅約3メートル、長さ約4メートル。松宝丸だけは低くて縦長だが、その分、松をあしらった大きな帆を掲げている。神功（じんぐう）皇后の京人形が乗った神功山（愛宕町）と松宝丸は道文化財に指定されている。

山車と共に奏でられる囃子は京都・祇園の流れをくむ。行進しているときの滑らかな「行き山」神社や各家の前で止まるときの荘厳な「立て山」宿に帰るときのテンポの速い「帰り山」と使い分けられる。

◆宵宮祭

祭り初日の9日は宵宮祭。「魂入れ」の後、子供たちが町内で山車を引き回した。夜、行列の先頭に行く山車が神前で決められた。

◆本祭初日

10日、各町内から山車が姥神大神宮に集合。午後1時ごろ、猿田彦と神輿（みこし）の神社行列を先頭に、上町地区に渡御行列が発した。昼は子供たちが中心で、笛を吹くのも太鼓を打つのも子供たち。大人はあまり顔を見せない。今年の祭りは、小雨の降るあいにくの天気だったが、子供たちの奏でる荘厳な囃子が古い街並みにマッチして神秘的な雰囲気包まれた。そして夜。大人の数が一挙に増えて祭り気分がみなぎった。山車を引っ張る男たちは、行く先々の家々に「結構なお祭りだ」とあいさつして、ずかずかと入っていた。家人は嫌な顔一つせず、ごちそうや酒を振る舞いご祝儀を渡した。男たちもどの山車の所属かを

示す名刺を渡し、時にはお礼の切り声を大声で歌った。ご祝儀のよく出る家には長くとどまった。祭りの経費はご祝儀でまかなわれるため、各山車は必死だ。もつとも、結局は持ち出しになってしまおうという。

午後7時ごろ、愛宕町の狭い道を電灯をきらめかせて山車が行進。囃子は激しく大きくなった。さらに、午後10時ごろ、大神宮の鳥居前に集合。夜の間も小雨は断続的に降っていたが、祭りのテンションは上がるばかりだった。山車の行進の間に、姥神大神宮で午後9時から神事「宿入れの儀」。町内を練り歩いた3基の神輿が戻った。

たいまつので参道を掃き清め、白い衣の男たちが神輿を担ぎ参道を通って石段を駆け上がった。拝殿に入ろうとするが、一度では神に許されない。1基目は7回目、2基目は5回目、3基目は3回目でやっと納められた。最後の神輿が拝殿に納められた瞬間、息をのんでいた観衆から大きな歓声と拍手が沸き起こった。

◆最終日

11日、山車は下町地区を行進。昼間は前日と変わらないが、夜、祭りは最大のクライマックスを迎えた。

午後9時半ごろ、山車が繁華街の新地町に集合。山車を紹介し「2日間の巡行、ご苦勞様です」というアナウンスのたびに歓声が上がった。

照明に輝く13台が通りに並び、それぞれ固有の囃子を奏でる様はまさに壮観。江差の中心街の通りが、山車と観客で少し詰め状態になった。山車の照明とネオンが熱狂する人達の顔も照らし出し、光と歓声と囃子がまちを包み込んだ。

山車を引っ張ってきた若者たちが、最

Data

日程：8月9日～11日（毎年）

入出：3日間で約7万人

山車：13基



●お問合せ先

江差町観光協会

Tel.01395-2-4815

江差町商工観光課

Tel.01395-2-1020

も熱狂するのが「ばか囃子」だ。若者らは「1銭けれ、1銭けれ。1銭もらって何すんのー」と絶叫。太鼓のたたき手は力の限りばちを振る、山車の上に乗る電線から山車を守る「線取り」が棒を床にたたきつけた。若者たちは何かにつかれたように肩を組んで激しく騒ぎ、息をつく間もなく何十分も囃子を続けた。感極まって泣き出してしまおう若い男性の姿もあった。

◆祭りのあと

祭りが終わっても、山車はなかなか動こうとしない。何度も注意され「かえり山」を奏でながら、名残を惜しみ、しぶしぶと引き揚げ宿に山車を戻した。

そのあと、静かに祝宴が開かれた。みんな疲れきっている。何かをやり遂げたような、それでいて寂しげな表情。清正山の頭取・番重守さん（57）は「祭りが終わると寂しくなる。でも明日からはもう、次の祭りが早くこないかと頭の中で考え出してしまふんだ」と笑った。

祭りの数日後にのぞいた祭りのホームページに「姥神大神宮祭まであと360日」と書き込んであった。

9月

- 6～8日 「もっと北海道フェア」へのブース出展⑨
- 14日 「炭鉱地域づくりサミット」出席(赤平市)
- 21日 「石狩川歴史・文化伝承事業～鮭地びき網実演」出席(石狩市)⑩
- 29日 「市電フェスティバル」出席(札幌市)
- 30日 「絵手紙・写真コンクール」入選作品展示会⑪



10月

- 26～27日 「北海道遺産セミナーin函館」開催
(I)「家でできる本格的な函館塩ラーメンの作り方」
(II)「路面電車の車庫見学と函館山の散策」⑫

11月

- 2日 CBツアーズ主催「北海道遺産のふるさとを訪ねる旅」参加⑬
(増毛の歴史的建物群と留萌のニシン街道・日帰りツアー)

12月

2003
1月

2月

- 7日 「北海道遺産トップ懇談会」開催
- 8日 赤れんがスクエア2003冬「北海道遺産夜会」開催

北海道遺産構想推進協議会の活動記録

(平成14年4月1日～15年2月上旬)

2002
4月

18日 平成14年度「北海道遺産構想推進協議会総会」開催①



5月

15日 「北海道のラーメン」認定証授与
16日 「北海道観光商品促進協議会」参加
24日 「函館塩ラーメン」認定証授与



6月

1日 第1回「北海道遺産 絵手紙・写真コンクール」作品受付開始
24～25日 第2回「北海道遺産交流会議」開催(芦別)②③



7月

5～7日 北海道遺産モデルツアー開催④⑤⑥
(上士幌町・足寄町・中標津町など)



8月

10～11日 北海道遺産セミナー開催
(I)「路面電車とさっぽろ～電車の歴史と街の形成、そしてこれから」
(II)「アイヌ文様にふれる～木彫り体験講座」⑦
(III)「家庭でできる本格的な札幌ラーメンの作り方」⑧
23日 「旭川ラーメン」認定証授与
31日 「北海道遺産 絵手紙・写真コンクール」作品受付締め切り



絵手紙
の部

(敬称略)

グランプリ
村上 幸江
大阪府
路面電車



金賞
【コダック/富士フィルム賞】
西田 啓二
埼玉県
函館山と砲台跡



金賞
【コダック/富士フィルム賞】
脇田 美幸
大阪府
北海道のラーメン



銀賞
【EAST WEST賞/CREATE賞】
安藤 順子
東京都
北海道大学 札幌農学校第2農場



銀賞
【EAST WEST賞/CREATE賞】
駒井 麗子
函館市
路面電車

入選作品



伊藤 長治
旭川市
北海道のラーメン



栗林 知子
函館市
路面電車



高木 政史
東京都
北海道のラーメン



辻 万智子
札幌市
北海道のラーメン



村木 通輝
東京都
路面電車



庄内 祐子
札幌市
小樽みなとと防波堤



池田 なほみ
小樽市
小樽みなとと防波堤



松井加予子
府中町
アイヌ語地名



渡邊 百合江
富良野市
霧多布湿原



山内 幹子
函館市
福山城（松前城）と寺町



小野 一郎
兵庫県
福山城（松前城）と寺町



今田 佳子
京都市
摩周湖



後藤 カオル
美幌町
摩周湖



松田 輝子
札幌市
螺湾ブリ



高田 弘子
札幌市
空知に残る炭鉱関連施設群



水野 妙子
岩見沢市
空知に残る炭鉱関連施設群



高橋 伸江
札幌市
留萌のニシン街道



鎌田 博文
帯広市
旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群



越野 由紀則
紋別市
ピアソン記念館



大作 智子
旭川市
石狩川



岩本 恭子
神戸市
アイヌ文様



山田 まゆみ
札幌市
稚内港北防波堤ドーム



三原 敬子
札幌市
京極のふきだし湧水



菅原 勇
虻田町
京極のふきだし湧水



下保 博美
幕別町
旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群

写真
の部

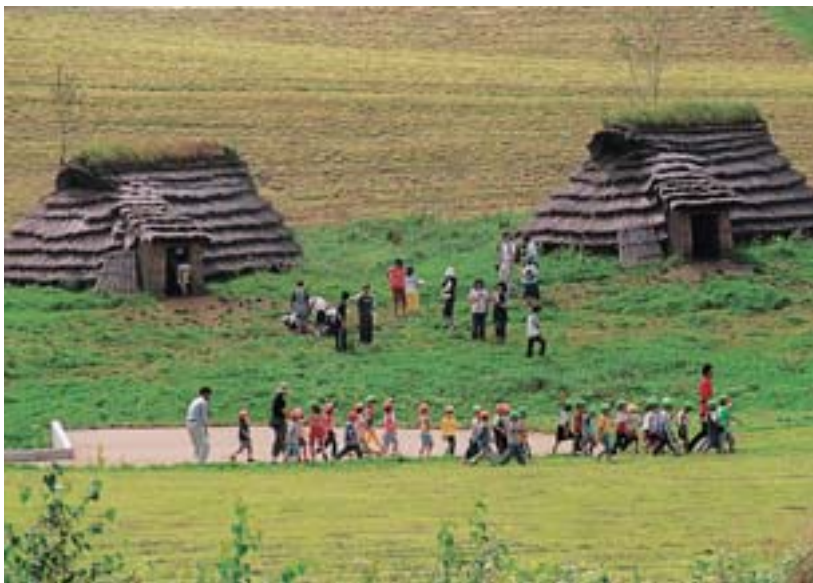
(敬称略)

グランプリ

富田 吉美

伊達市

内浦湾沿岸の
縄文文化遺跡群



金賞

【コダック/富士フィルム賞】

三浦 純

石狩市

北海道大学 札幌農学校第2農場



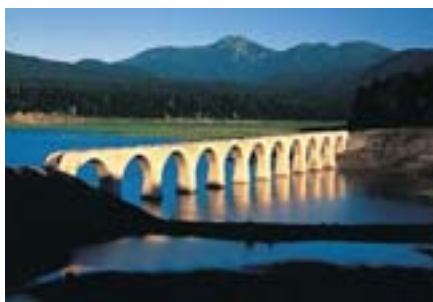
金賞

【コダック/富士フィルム賞】

矢口 勲

札幌市

霧多布湿原



銀賞

【EAST WEST賞/CREATE賞】

宮本 剛

幕別町

旧国鉄士幌線コンクリート
アーチ橋梁群



銀賞

【EAST WEST賞/CREATE賞】

松本 輝雄

北広島市

京極のふきだし湧水

入選作品



伊藤 哲人

札幌市

北海道大学 札幌農学校
第2農場



遠藤 昶司

札幌市

北海道大学 札幌農学校
第2農場



山本 孝次

札幌市

北海道大学 札幌農学校
第2農場



星 光義

札幌市

北海道大学 札幌農学校
第2農場



千葉 宏

函館市

路面電車



古平 文男
三笠市
京極のふきだし湧水



榎 英子
札幌市
留萌のニシン街道



出嶋 重六
室蘭市
留萌のニシン街道



廣田 政孝
札幌市
留萌のニシン街道



紅露 雅之
小樽市
小樽みなとと防波堤



片山 隆
音更町
増毛の歴史的建物群



今井 敬一
江別市
京極のふきだし湧水



野村 耕一
札幌市
路面電車



村内 勝男
八雲町
姥神大神宮渡御祭



塩谷 進
札幌市
姥神大神宮渡御祭



高田 悦也
帯広市
螺湾ブキ



大橋 英児
稚内市
稚内港北防波堤ドーム



酒井 豊隆
釧路市
摩周湖



広瀬 昌彦
旭川市
摩周湖



丹羽 明仁
愛知県
摩周湖



三上 賢策
室蘭市
昭和南山国際雪合戦大会



添島 均
本別町
旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群



瀧 伍一
帯広市
旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群



増田 秀則
帯広市
旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群



浦富 弘
美幌町
ピアソン記念館

北海道遺産構想のサポーターを募集しています

道民全体の運動として「北海道遺産構想」を展開していくためには、たくさんのサポーターの存在が不可欠です。この構想を応援していただける賛助会員を募集しています。

〔個人会員〕 年会費1口 500円（高校生以上は2口以上をお願いします）

〔企業・団体会員〕 年会費1口 10,000円（何口でも可）

■お申込方法

お名前・ご住所・電話番号・年齢・お申込口数・振込先を明記の上、ハガキ・ファクス・メールで下記事務局までお送りください。

■振込先

- (1) 北海道銀行道庁支店 北海道遺産構想推進協議会 会長 辻井達一
(口座番号) 0661347
- (2) 郵便振替 北海道遺産構想推進協議会
(口座番号) 02740-5-47228

北海道遺産構想推進協議会事務局

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館3階

(財) 日本グラウンドワーク協会北海道支部内

(TEL) 011-218-2858 (FAX) 011-232-4918

(アドレス) heritage@northerncross.co.jp

北海道の可能性。



北海道遺産
Hokkaido Heritage

発行 北海道遺産構想推進協議会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館3階

(TEL) 011-218-2858 (FAX) 011-232-4918